

**【募集】浪江駅西側地区公民連携まちづくりアイデア提案募集要項
『共創交流拠点形成と地域課題・社会課題解決に向けて』**

令和6年7月31日



目次

- 1 浪江町の概要
- 2 事業アイデア提案について
 - (1) 提案募集の趣旨
 - (2) 提案者の要件
 - (3) 応募方法
 - (4) スケジュール
 - (5) 現地視察会
 - (6) その他
- 3 浪江町役場職員からのコメント
- 4 問い合わせ先
- 5 参考資料 等

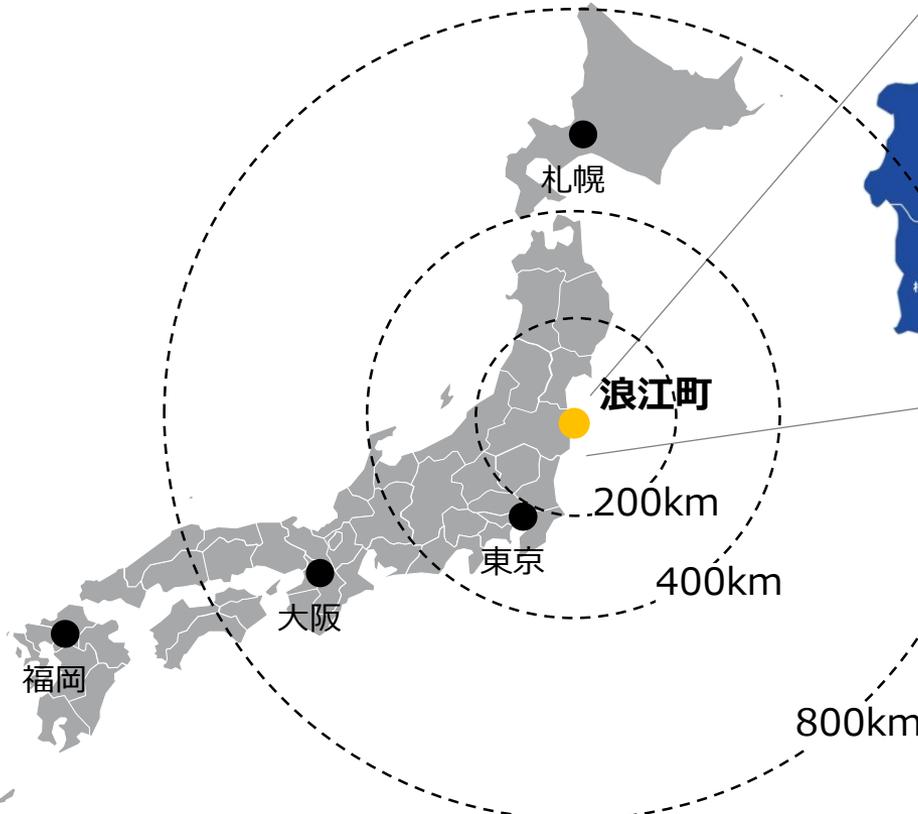
- 1 浪江町の概要
- 2 事業アイデア提案について
 - (1) 提案募集の趣旨
 - (2) 提案者の要件
 - (3) 応募方法
 - (4) スケジュール
 - (5) 現地視察会
 - (6) その他
- 3 浪江町役場職員からのコメント
- 4 問い合わせ先
- 5 参考資料 等

1. 浪江町の概要

浪江町の立地

ふるさと「浪江町」

海と山と川に囲まれ、自然に恵まれたまち
歴史と伝統を大切にするまち
資源を生かした、にぎわいのあるまち



震災時人口	21,542人
世帯数	7,671世帯
面積	223.14km ²

1. 浪江町の概要

浪江町の立地（アクセス）



ACCESS

浪江町への行き方

電車

東京方面から	品川駅	…………… [JR 常磐線：特急ひたち] ……………	浪江駅	約3時間20分
仙台方面から	仙台駅	…………… [JR 常磐線：特急ひたち] ……………	浪江駅	約1時間10分
仙台方面から	仙台駅	…………… [JR 常磐線] → 原ノ町駅 → [JR 常磐線] ……………	浪江駅	約1時間40分
仙台空港から	仙台空港駅	…………… [仙台空港アクセス線] → 名取駅 → [JR 常磐線] → 原ノ町駅 → [JR 常磐線] ……………	浪江駅	約2時間

高速道路

仙台方面から	仙台南I.C.	…………… [仙台南部道路・仙台東部道路・常磐自動車道] ……	浪江 I.C.	約1時間30分
いわき方面から	いわき中央I.C.	…………… [常磐自動車道] ……………	浪江 I.C.	約1時間

一般道路

福島から	国道 114 号	約1時間30分
仙台から	国道 6 号	約3時間
いわきから	国道 6 号	約1時間30分

1. 浪江町の概要

浪江町の魅力

《自然》

- 海・山・川の自然が豊かで、四季を通じ過ごしやすい気候。
- 請戸川リバーラインの桜並木、高瀬川溪谷や津島の紅葉、阿武隈の山々を背にした水田など季節ごとに美しい景観。



《歴史・文化》

- 千年の歴史を持つ相馬野馬追、豊漁を祈る安波祭、裸参り、十日市など伝統行事や各種のイベントなど豊富な地域資源。
- 「津島の田植踊り」、「中島の剣舞」、「川添の神楽」など伝統芸能が保存・承継。
- 江戸時代から続く大堀相馬焼は国の伝統的工芸品として指定されている。



《食》

- 請戸漁港で水揚げされたヒラメやしらすなどの魚介は「常磐もの」として高い評価を得ている。
- 「なみえ焼そば」は、B-1グランプリで1位に選ばれたこともあり、全国的な知名度を得ている。



《震災前のにぎわい》

- 新町通りから浪江駅の間は、様々な店が立地していた。
- 新町通りで開催されていた十日市は非常に多くの人出があった。
- 浪江駅周辺は飲食店街としても栄えて、夜もにぎやか。
- 戸神山・手倉山への登山客や高瀬川・請戸川への釣り人も多く訪れる。

1. 浪江町の概要

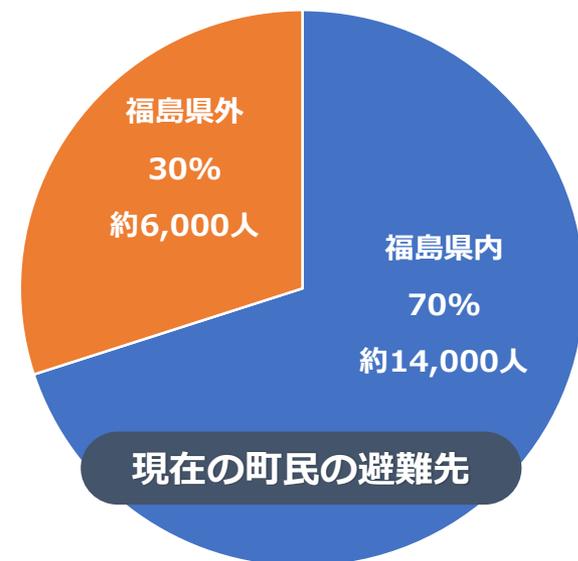
福島第一原子力発電所の事故



半径20km圏内に避難指示 20km～30kmに屋内退避指示

- ▶ 町全域**21,000人**を超える町民が避難対象に
- ▶ 避難先を転々、役場機能も**1年半で4回移動**
- ▶ 長引く避難生活による**震災関連死442人**

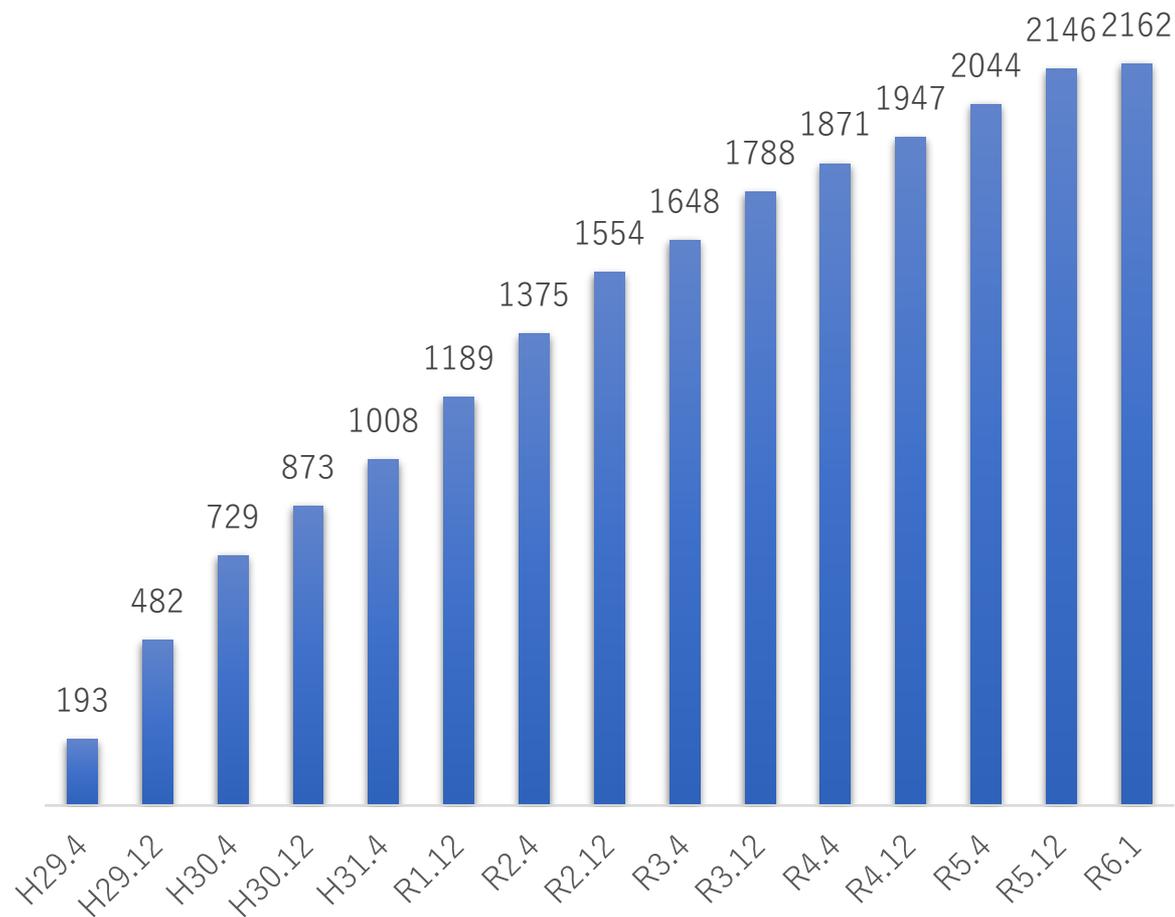
(令和4年6月末)



1. 浪江町の概要

浪江町の人口の推移

町内居住人口の推移①



浪江町民の数

男	7,503人
女	7,606人
計	15,109人
	6,656世帯

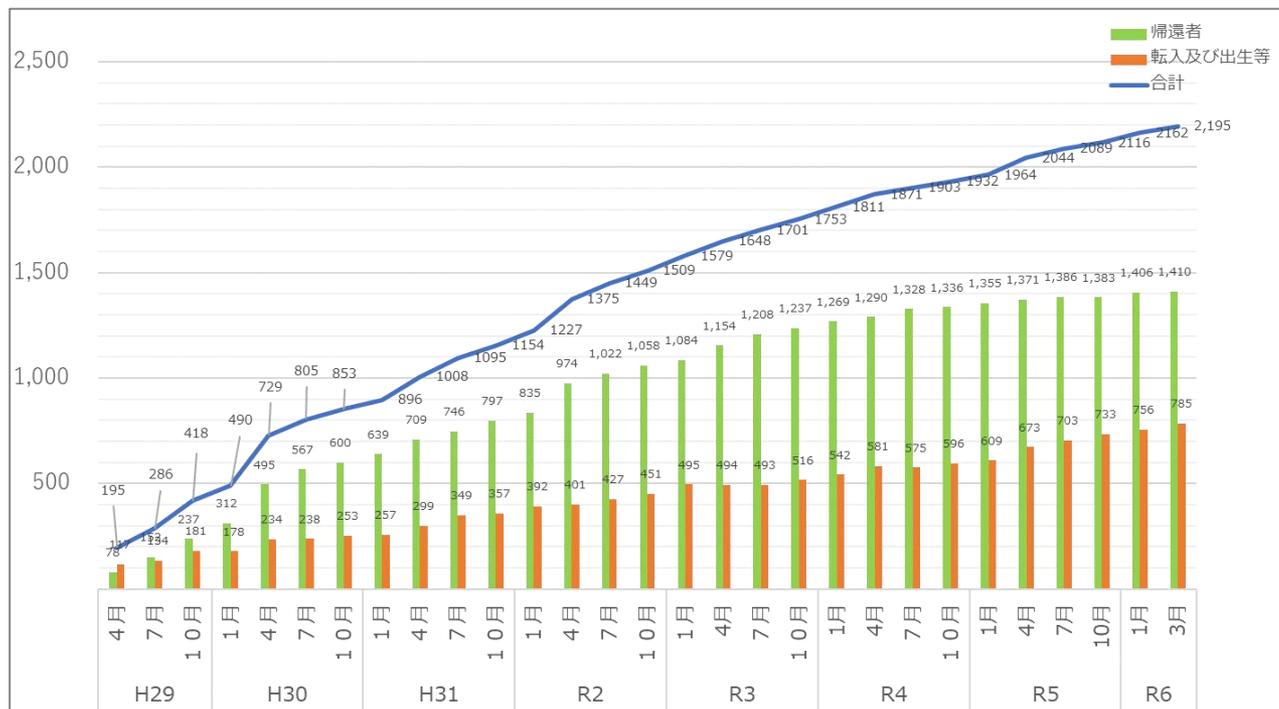
(令和6年1月末時点)



1. 浪江町の概要

浪江町の人口の推移

町内居住人口の推移②



全国人口1万人未満の町の部
【浪江町】
 総合部門 **第1位**
 若者世代・単身者部門 **第1位**
 子育て世代部門 第3位
 シニア世代部門 第3位

- ・「田舎暮らしの本」（宝島社）の「2024年版第12回住みたい田舎ベストランキング」1万人未満の町の部において、**浪江町は総合部門および若者世代・単身者部門において各1位を獲得**

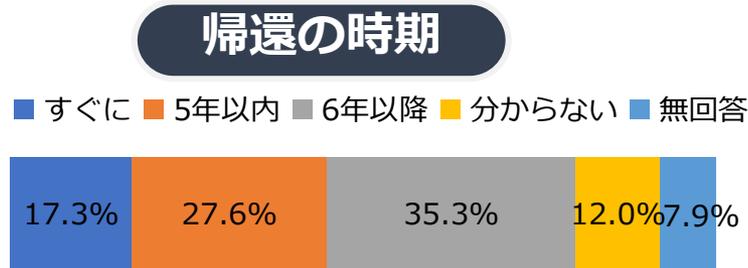
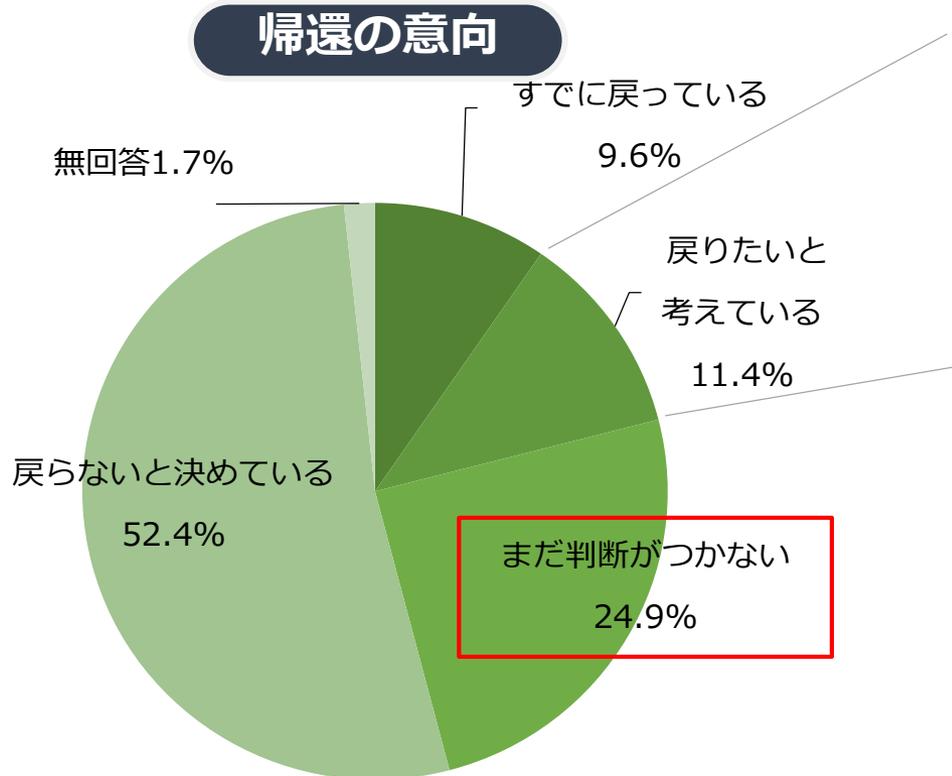
※ 住みたい田舎ベストランキングとは

宝島社編集部において、全278項目の独自アンケートを行い、地域の魅力を数値化し、ランキング形式で「住みたい田舎」として発表を行うものです。2024年版では全国587の自治体が参加しています。

人口区分を「村」「町」「市」に分類し、さらに「村」「1万人未満の町」「1万人以上の町」などの8グループに分けて、それぞれを「総合」「若者世代・単身者」「子育て世代」「シニア世代」の4部門別にランキングしたものを発表しています。

浪江町への帰還意向

住民意向調査の結果



調査の概要

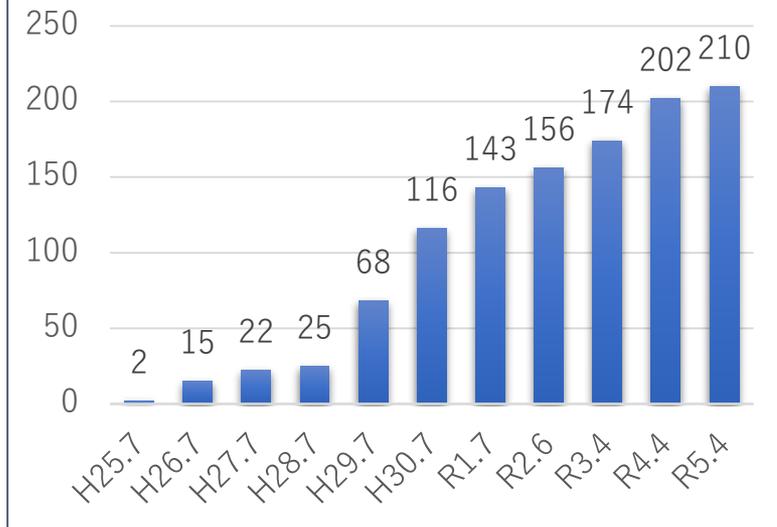
- ・ 調査対象 世帯の代表者 7,395世帯
- ・ 調査時期 令和3年10月12日～26日
- ・ 回収数 3,669世帯
- ・ 回収率 49.6% (前年度58.6%)

- ▶ 約半数の住民が「戻らないと決めている」と考えている
- ▶ 約1/4は「まだ判断がつかない」との意向
- ▶ 戻りたいと思える町にするため、町の**魅力向上を図っている**

1. 浪江町の概要

新たな産業と雇用の創出

町内での再開事業者数



町内に店舗・施設がオープン

- 令和元年7月 イオン浪江店オープン
- 令和3年3月 道の駅なみえグランドオープン
- 令和3年8月 いこいの村なみえグランドオープン

産業団地に立地した企業

浪江町北産業団地

- ▶ 株式会社バイオマスレジン福島

浪江町南産業団地

- ▶ 會澤高圧コンクリート株式会社

浪江町棚塩産業団地

- ▶ 福島水素エネルギー研究フィールド
- ▶ 福島高度集成材製造センター
- ▶ 福島ロボットテストフィールド

浪江町藤橋産業団地

- ▶ フォーアールエナジー株式会社
- ▶ 静光産業株式会社
- ▶ 株式会社一路
- ▶ 富士コンピュータ株式会社

連携協定締結

- ▶ 株式会社良品計画
- ▶ 福島県酪農業協同組合および全国酪農業協同組合連合会
- ▶ 丸紅株式会社、株式会社日立製作所、パナソニック株式会社、みやぎ生活協同組合福島支部
- ▶ 隈研吾建築都市設計事務所、伊東順二事務所、住友商事株式会社
- ▶ 双葉町・南相馬市・日産自動車・フォーアールエナジー・福島日産自動車・日産プリンス福島販売・イオン東北・日本郵便・長大・ゼンリン
- ▶ 三井住友海上火災保険株式会社
- ▶ 国立大学法人 弘前大学、福島大学、東京大学、新潟大学、東京工業大学、東北大学

基本協定締結

- ▶ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
- ▶ 八島運送株式会社（南産業団地）
- ▶ 日揮株式会社・かもめミライ水産株式会社（北産業団地）
- ▶ 株式会社ダイイチ（南産業団地）
- ▶ 株式会社トッキュウ（南産業団地）

1. 浪江町の概要

新たな魅力

《楽しいなみえ》

- 「道の駅なみえ」は連日、多くの人々が訪れる。食や買い物を楽しめるほか、福島応援ポテンをテーマにしたラッキー公園があり、楽しく過ごすことができる。



- 町内で飲まれている水道水「NAMIE WATER～なみえの水～」が「モンドセレクション」金賞を受賞。



- 浪江町の公式イメージアップキャラクター「うけどん」は、ゆるキャラグランプリにおいて、過去の最高位は福島県で1位、全国で26位。



- 「福島いこいの村なみえ」は、宿泊だけでなく大浴場やサウナへの日帰り入浴、レストランでの食事やバーベキューが楽しめる。
- アイドルグループ「浪江女子発組合」が結成され、今の浪江を伝えることをテーマに活動。

《チャレンジするなみえ》

- 従来、浪江町で生産されていなかった、「トルギキウリ」、「浜の輝（玉ねぎ）」、「SAMURAIガーリック」など、新たな農産物の生産も行われている。



- 浪江町には世界最大級の水素製造装置を備えた実証施設「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）」が立地しており、水素エネルギー利活用の先進地域。



- 「なみえスマートモビリティ」により実証事業として交通サービスを提供中。
- このように様々な実証が浪江町で実施されており、浪江町は、新たな技術により、日本が直面する社会課題解決のモデルとなる先進的な取組にチャレンジしています。

《まちづくり》

- 浪江駅周辺においては、建築家隈研吾氏のデザインによる中心市街地の再生に向けた先導的まちづくりが進められている。



浪江駅周辺整備事業イメージ

1. 浪江町の概要

新たな魅力 浪江駅周辺整備事業



2022年策定



- 1-1. 配置計画
 - エリア分析図
 - 屋根伏せ図
 - 配置計画・平面図
 - 動線計画
 - 建築物の用途と構成
- 1-2. 「なみえルーフ」
 - 大屋根
 - 展望テラス
 - 展開図
- 1-3. モビリティ
 - 東西自由通路
 - 交通結節広場



- 3-1. 連続する緑空間
 - 緑空間デザインコンセプト
 - 緑空間デザイン・景観計画
 - 植栽計画
 - 植栽選定
- 3-2. まちをつくる要素
 - 舗装材
 - 公共サイン
 - ストリートファニチャー
 - モニュメント



- 2-1. 木材活用
 - 建築物の構造
 - 建築物の内外装材
- 2-2. 再生可能エネルギー RE100
 - 水素利用
 - 太陽光発電
 - 防災機能

伊東順二氏



隈研吾氏

1. 浪江町の概要

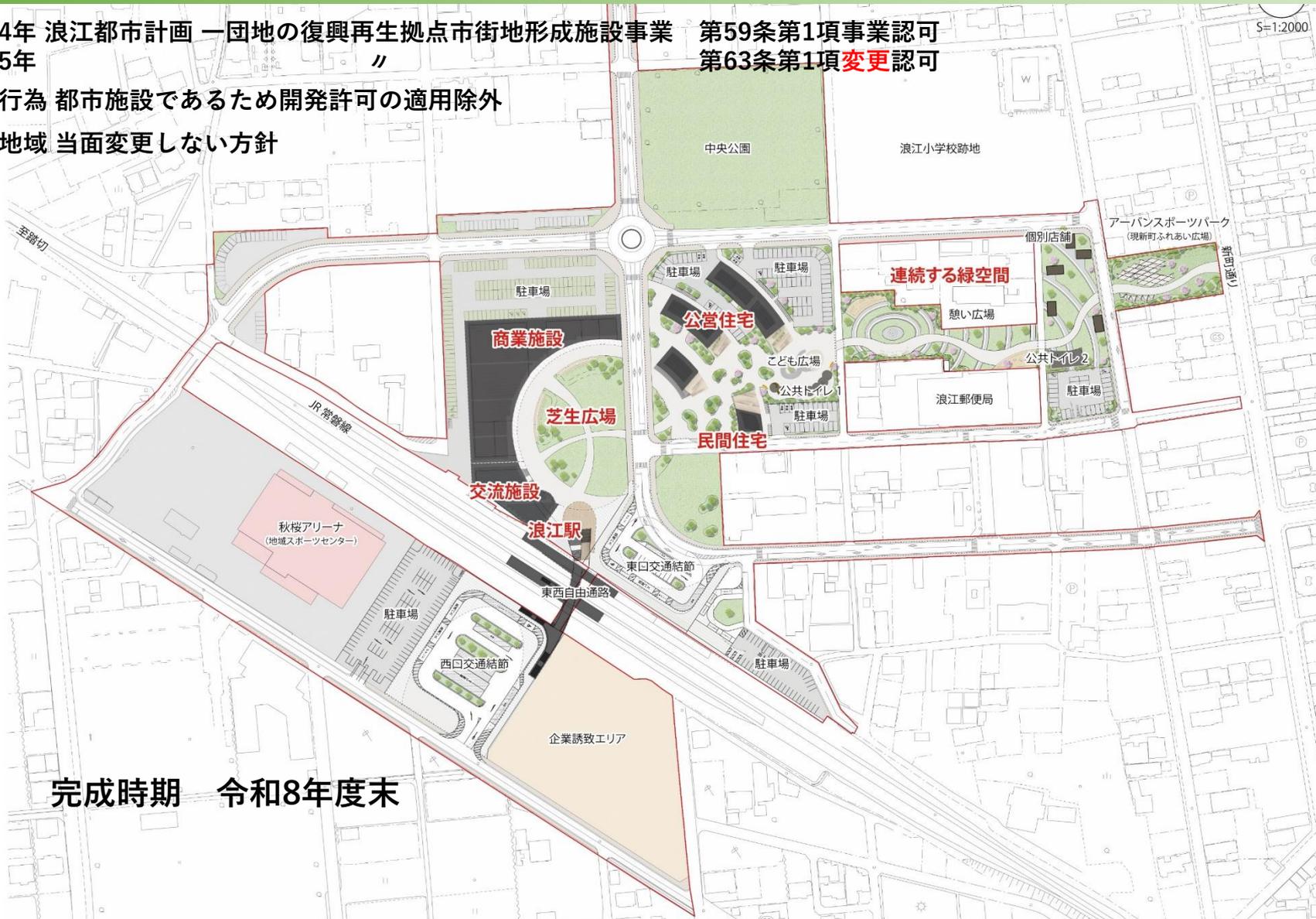
新たな魅力 浪江駅周辺整備事業

令和4年 浪江都市計画 一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業
令和5年 //

第59条第1項事業認可
第63条第1項変更認可

開発行為 都市施設であるため開発許可の適用除外

用途地域 当面変更しない方針



完成時期 令和8年度末

1. 浪江町の概要

新たな魅力 浪江駅周辺整備事業



1. 浪江町の概要

新たな魅力 浪江駅周辺整備事業

※本スケジュールは想定であり、今後変更となる可能性があります。

年度	2021 令和 3	2022 令和 4	2023 令和 5	2024 令和 6	2025 令和 7	2026 令和 8
 <p>基盤整備</p>	都市計画決定 事業認可 ▼ 調査・基本設計	用地取得				
	デザイン 基本計画	実施設計		工事		
 <p>交流施設</p>	デザイン 基本計画	条件整理	基本設計	実施設計	工事	
 <p>東西自由通路・駅舎</p>	基礎調査 デザイン 基本計画	条件整理	基本設計	実施設計	工事	
 <p>商業施設</p>	デザイン 基本計画	条件整理	基本設計	実施設計	工事	
 <p>民間住宅</p>	デザイン 基本計画	住宅事業者との協議	基本設計	実施設計	工事	
 <p>公営住宅</p>	デザイン 基本計画	基本設計	実施設計	工事		

1. 浪江町の概要

支援制度 [店舗等]

町内の空き地等を活用した店舗等の事業再開や創業に活用できる支援制度

事業再開補助金	創業補助金	水光熱補助金	食料品調達支援補助金
<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象者等 原子力災害被災12市町村において震災時に被災した事業者 ■ 補助対象 事業に要する経費の一部 ■ 補助率 1/3～1/5以内 ■ 限度額 333～3200※万円 ※帰還困難区域、特定復興再生拠点区域における事業に適用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象者等 原子力災害被災12市町村において創業する者または事業展開する者 ■ 補助対象 事業に要する経費の一部 ■ 補助率 2/3～3/4以内 ■ 限度額 666～2250※万円 ※帰還困難区域、特定復興再生拠点区域における事業に適用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象事業者 町内事業開始から1年 ■ 補助率 1 / 2 ■ 限度額 特定復興再生拠点は1 / 1 製造業120万円／年 スーパー90万円／年 他業種90万円／年 特定復興再生拠点は2倍 ■ 時限措置 R9.3.31 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食料品取扱事業者 ① 浪江町内において食料品を取扱う事業者 ② 浪江町内に食料品を納入でき、浪江町に法人住民税を納付している事業者 他 ■ 補助限度額 補助対象経費の3割 10万円／月 ■ 対象となる食料品 食料品、飲料など

1. 浪江町の概要

支援制度 [企業立地等] ①

支援制度の例示

補助項目	補助金名	補助率等
被災地復興や 福島イノベ構 想の実現等を 支援	自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金 本補助金は、原子力災害により甚大な被害を受けた福島県の避難指示区域等において工場・店舗等を新增設する企業に対し支援を行い、雇用の創出を通じて地域経済の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 最大補助率4/5以内 最大補助額5億円
	地域復興実用化開発等促進事業費補助金 浜通り地域等の早期の産業復興を実現するため、イノベ構想において重点的に取り組む分野について、地元企業等又は地元企業等と連携して行う実用化開発等を支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> 最大補助率3/4以内 最大補助額7億円
	福島県原子力発電施設周辺地域 企業立地支援事業費補助金 原子力発電施設等の周辺地域における企業の立地と雇用機会の創出を図ることを目的に、その地域に立地した事業者に対して、支払った電気料金等に基づいて道府県が一定期間に亘り補助金を交付する制度です。	<ul style="list-style-type: none"> 電気料金の一部を補助 最大8年間交付
本社機能移転 等を支援	本社機能移転に関する補助金 福島県では、企業の本社機能の移転・拡充を促進するため、県内に本社機能を移転または拡充する企業等に対し、従業員の引っ越し費用を1人あたり最大100万円補助します。	<ul style="list-style-type: none"> 転居費用補助 最大100万円/人
	ふくしま企業移転支援補助金 首都圏等の企業が県内に拠点を設け、テレワークにより事業内容や取引先等を変えずに、ゆとりある勤務環境を実現する企業単位での「転職なきふくしまぐらし。」を促進するものです。	<ul style="list-style-type: none"> 物件購入 最大2,000万円 賃貸最大450万円

※すでに令和6年度の募集を終了した事業もあります。
 詳細は福島県企業立地ガイドを参照してください。



1. 浪江町の概要

支援制度 [企業立地等] ②

支援制度の例示

補助項目	補助金名	補助率等
税制優遇	県税の優遇措置 以下の特例措置等があります。福島復興再生特別措置法に係る措置（避難解除区域等における被災事業者の事業再開及び新規事業者の立地促進に対する特例措置。福島イノベーション・コースト構想の推進に係る特例措置。）、ふくしま産業復興投資推進特区に係る措置 等	・ 整備投資に対する特別償却または税額控除など
	地方拠点強化税制 本社機能の移転や拡充を行う事業者が「地方活性向上地域特定業務施設整備計画」を福島県に申請し、認定を受けることにより、課税の特例等の支援措置を受けることができます。	・ オフィス減税 建物等の取得価額に対して25%の特別償却または7%の税額控除など
イノベ地域の企業・創業支援 Fukushima Tech Create	福島イノベ構想の重点6分野関連スタートアップ支援 以下の2種類があります。ビジネスアイデア事業化プログラム（企業や新事業展開等の新たなチャレンジを志向する方向への支援）、アクセラレーションプログラム（事業化を志向する方向への支援）	・ 補助上限額 300～500万円
	公的研究機関や大学等での研究成果等の社会実装スタートアップ支援 公的研究機関や大学等での研究成果等を社会実装しようとする方むけの支援プログラムです。	・ 補助上限額1,000万円 (各フェーズ)



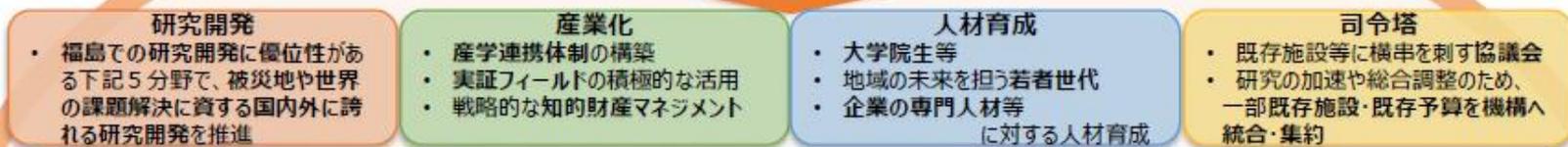
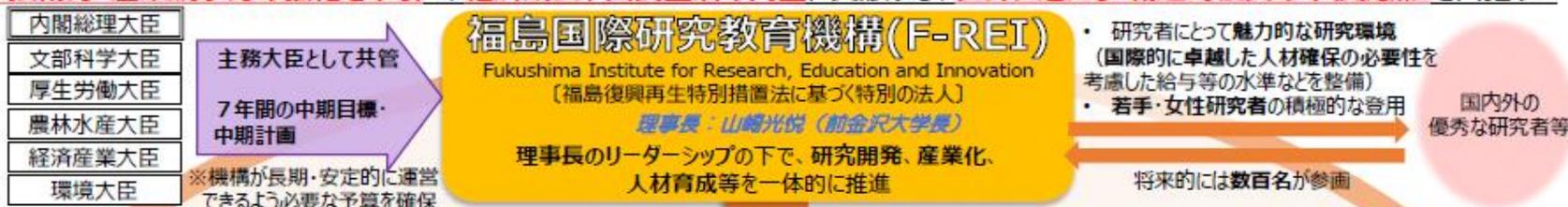
1. 浪江町の概要

福島国際研究教育機構 エフレイ

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

エフレイの概要

福島国際研究教育機構（以下「機構」）は、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す。



機構が取り組むテーマ ※新産業創出等研究開発基本計画 (R4.8.26策定)

【①ロボット】

廃炉にも資する高度な遠隔操作ロボットやドローン等の開発、性能評価手法の研究等

過酷環境に対応するドローン・ロボット

【②農林水産業】

農林水産資源の超省力生産・活用による地域循環型経済モデルの実現に向けた実証研究等

農林水産業のスマート化 (農機制御システム)

【③エネルギー】

福島を世界におけるカーボンニュートラル先駆けの地にするための技術実証等

再エネ水素 → CO₂ (回収) → CO₂ (利用) → 基礎化学品合成原料等

カーボンニュートラルの実現 (バイオ・ケミカルプロセスによる化学製品等の製造)

【④放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用】

放射線科学に関する基礎基盤研究やR・Iの先進的な医療利用・創薬技術開発及び、超大型X線CT装置による放射線産業利用等

放射線イメージング技術の研究開発

【⑤原子力災害に関するデータや知見の集積・発信】

自然科学と社会科学の融合を図り、原子力災害からの環境回復、原子力災害に対する備えとしての国際貢献、更には風評払拭等にも貢献する研究開発・情報発信等

復興・再生まちづくりの実践と効果検証研究

<機構及び仮事務所の立地>
 円滑な施設整備、周辺環境、広域波及等の観点から、以下に決定

本部：ふれあいセンターなみえ内
 本施設：浪江町川添地区

福島国際研究教育機構の設置効果の広域的な波及へ

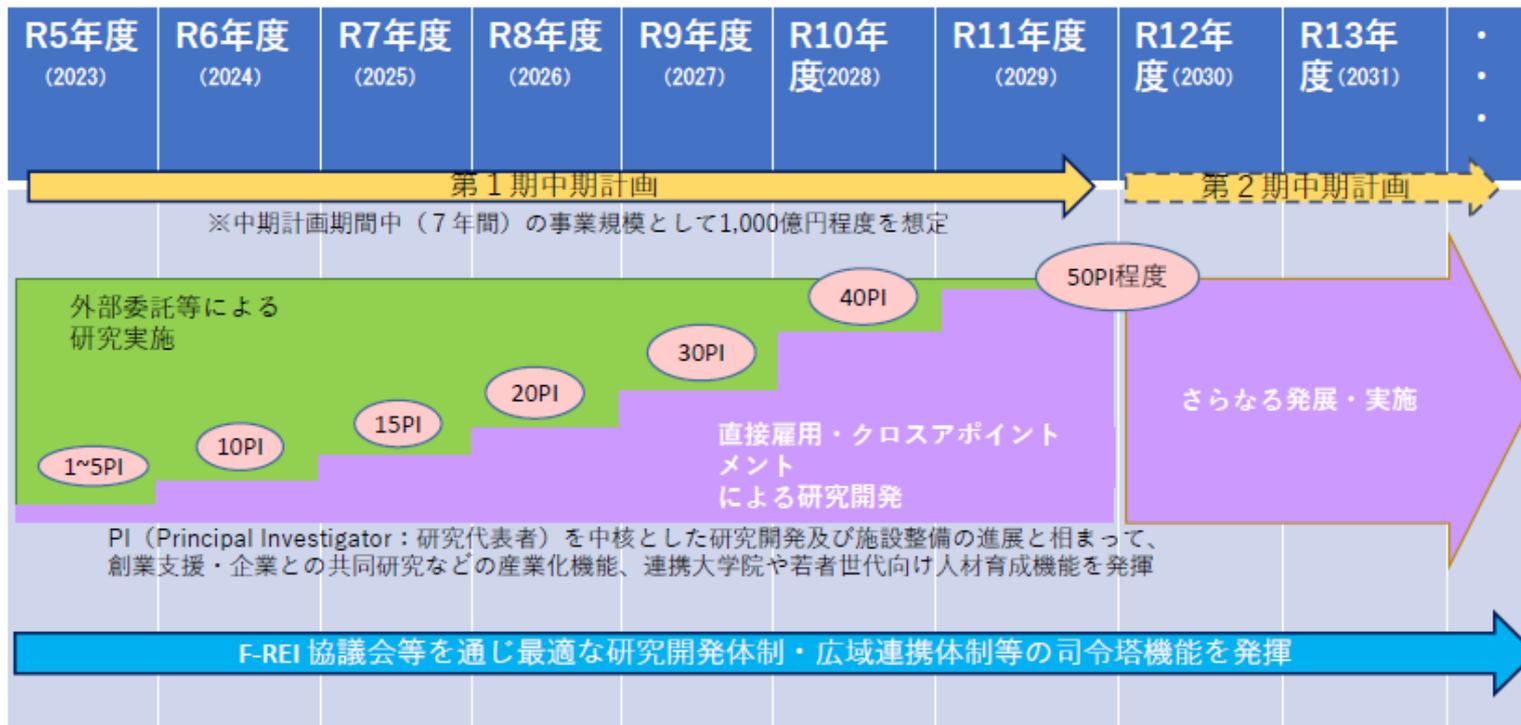
・機構を核として、市町村、大学・研究機関、企業・団体等と多様な連携を推進
 ・浜通り地域を中心に「世界でここにしかない研究・実証・実装の場」を実現し、国際的に情報発信

1. 浪江町の概要

福島国際研究教育機構 エフレイ

Fukushima Institute
for Research, Education and Innovation

エフレイロードマップ（イメージ）



施設整備

復興庁設置期間内での順次供用開始を目指すこととし、さらに可能な限りの前倒しに努める

- > 施設基本計画のとりまとめ、都市計画手続き
- > 基本・実施設計、用地取得（用地取得予定面積：概ね14ha）
- > 造成工事
- > 建設工事 → 竣工後順次供用開始

1. 浪江町の概要

福島国際研究教育機構 エフレイ

Fukushima Institute
for Research, Education and Innovation

立地予定地の概況



← 立地予定地 航空写真
(浪江町提供資料を加工)

◆ 「ふれあい福祉センター」、「ふれあい交流センター」の一部を借用。

1. 浪江町の概要

福島国際研究教育機構 エフレイ

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

エフレイ施設基本計画（概要）

はじめに

「福島国際研究教育機構基本構想」（令和4年3月29日復興推進会議決定）において、F-REIが着実に業務を本格実施できるよう、当初の施設整備は国が行い、令和5年度までに設計条件を盛り込んだ施設基本計画を取りまとめることとされている。

本計画は、復興庁に設置した「福島国際研究教育機構施設の在り方に関するアドバイザー会議」で取りまとめた「福島国際研究教育機構の施設基本計画策定に向けて」を踏まえたものである。

施設整備の方向性

多様な研究開発活動に応じた施設づくり

- ・「創造的復興の中核拠点」にふさわしいシンボル性を持った環境の創出
- ・イノベーションを起こす研究開発の実施に資する空間の創出
- ・分野横断的な融合等を促進する交流・連携空間の創出
- ・若手や女性、外国人などの多様な研究者の活躍を支える環境整備等

周辺環境や景観に配慮した施設づくり

- ・土木と建築、ランドスケープの一体的な検討
- ・浪江駅周辺のまちづくりとのつながりを考慮等

研究者や地域の方々に親しみやすい施設づくり

- ・F-REI研究者や地域住民等来訪者の交流空間の創出等

安全で快適な施設づくり

- ・耐震性能の確保や浸水対策の実施
- ・施設内外において適切なセキュリティレベルを設定等

地球環境にやさしい施設づくり

- ・再生可能エネルギーや水素等グリーンエネルギー活用等の検討
- ・ZEB化や木材利用の検討等

段階的供用及びサステナブルな施設づくり

- ・研究活動等の早期の本格化を目指し、各施設を順次段階的に供用開始
- ・将来的な施設の拡張性や更新のしやすさ等を考慮した配置計画等

研究開発等環境の充実に資する施設整備に向けた重点方針

研究開発等環境（総論）

分野横断的・学際的な研究の促進／共同研究等を促進するための産学連携交流スペースの配置等

交流・連携

天候や気候に影響を受けずに自由に出入りができるオープンスペースの整備／ホール、大会議室、広報・展示室等の整備等

防災・減災

耐震・浸水対策（盛土等）／研究の継続性／地域防災の向上への貢献等

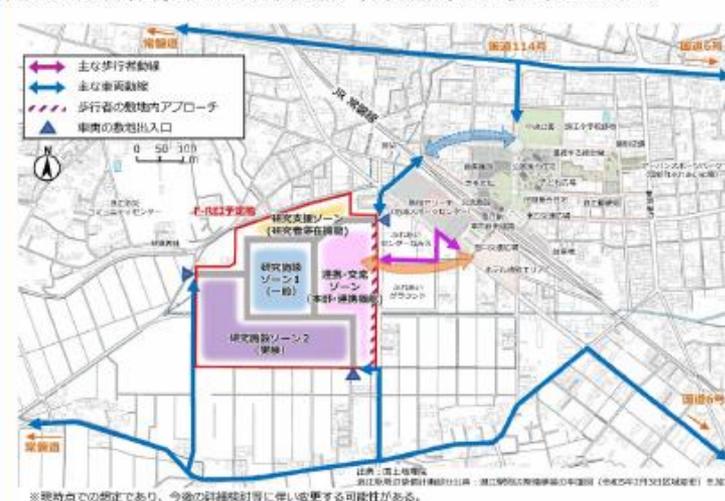
環境・サステナビリティ

エネルギー管理システムの構築／緑地空間の創出／省エネルギー化や耐久性の確保等

令和6年1月30日 復興大臣決定

ゾーニング図／動線図

本敷地の都市計画事業における都市施設（研究施設）の面積は約16.9万㎡。



ゾーン名	主な施設	
連携・交流ゾーン	本部施設	管理・運営を担うための施設
	本部機能支援施設	F-REI関係者の研究活動・職務を支援するとともに、F-REIの活動や研究成果を広報・展示するための施設
	図書・情報施設	研究者等が文献調査を行うほか、研究データの保管等のためのサーバーを設置するための施設
研究支援ゾーン	講堂・ホール施設	研究成果の発表や人材育成のための講義、見学者等の来訪者への情報発信等を行うための施設
	短期宿泊施設	連携大学院制度による大学院生や共同研究等のためのポストドクター等が一時的に滞在するための施設
研究施設ゾーン1	研究実験施設	F-REI研究者や共同研究者等が日常的に滞在し、研究活動を行うための施設
研究施設ゾーン2	固有実験施設	F-REI研究者や共同研究者等が高度な研究活動を行うための施設
-	その他	中央監視施設や廃棄物処理施設、変電施設等を想定

工期

・復興庁設置期間内での順次供用開始を目指し、さらに可能な限り前倒しに努める。



F-REIの立地を踏まえたまちづくり

浪江国際研究学園都市構想

構想の位置づけ

町の最上位計画である浪江町復興計画【第三次】やその関連計画を踏まえながら、F-REIの本町への立地に伴う状況変化に対応するため、「浪江国際研究学園都市構想」を策定

なお、浪江町復興計画【第三次】の改定時に、施策などの整合を図ります。

- 計画期間：令和6年度～令和15年度（10年間）
- 対象範囲：浪江国際研究学園都市の範囲は浪江町全域とします

1. 浪江町の概要

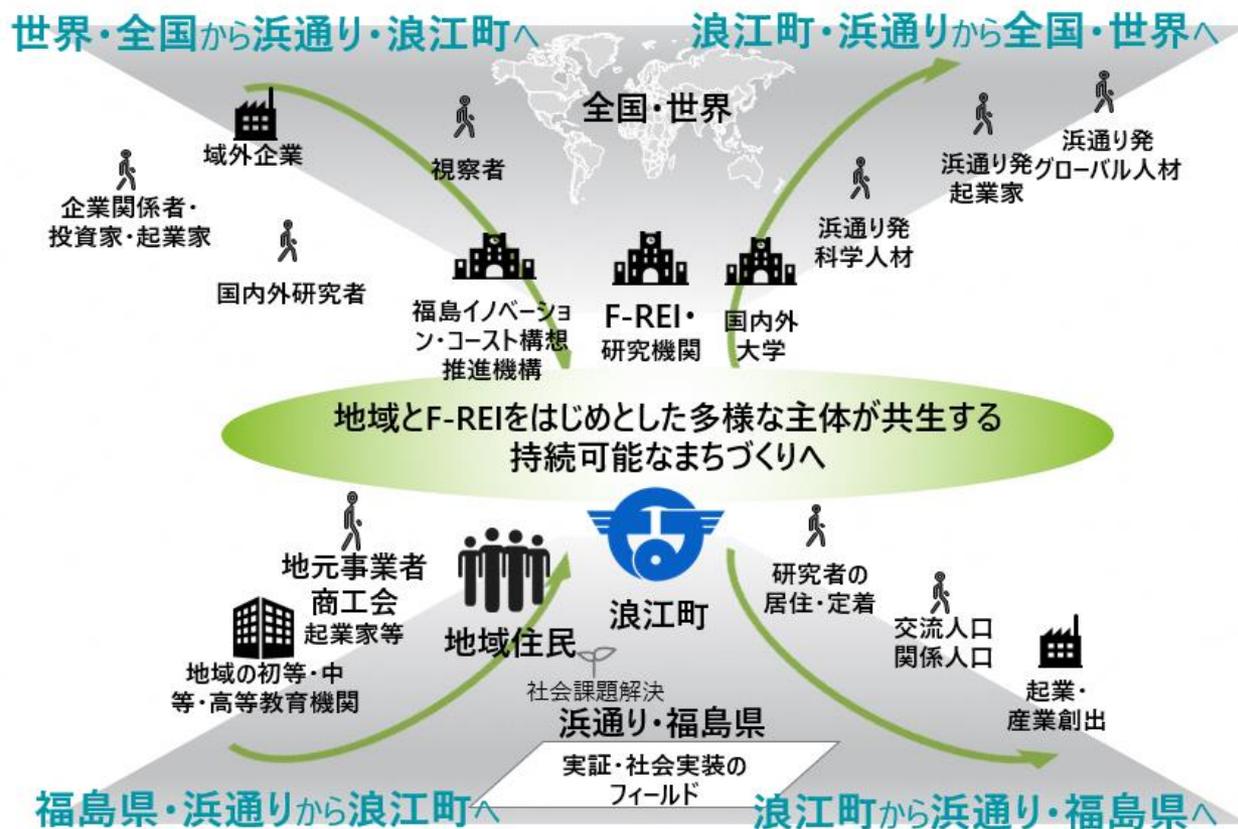
F-REIの立地を踏まえたまちづくり

浪江国際研究学園都市構想

本構想のビジョン

地域とF-REIをはじめとした多様な主体(※)が共生する持続可能なまちづくりの実現

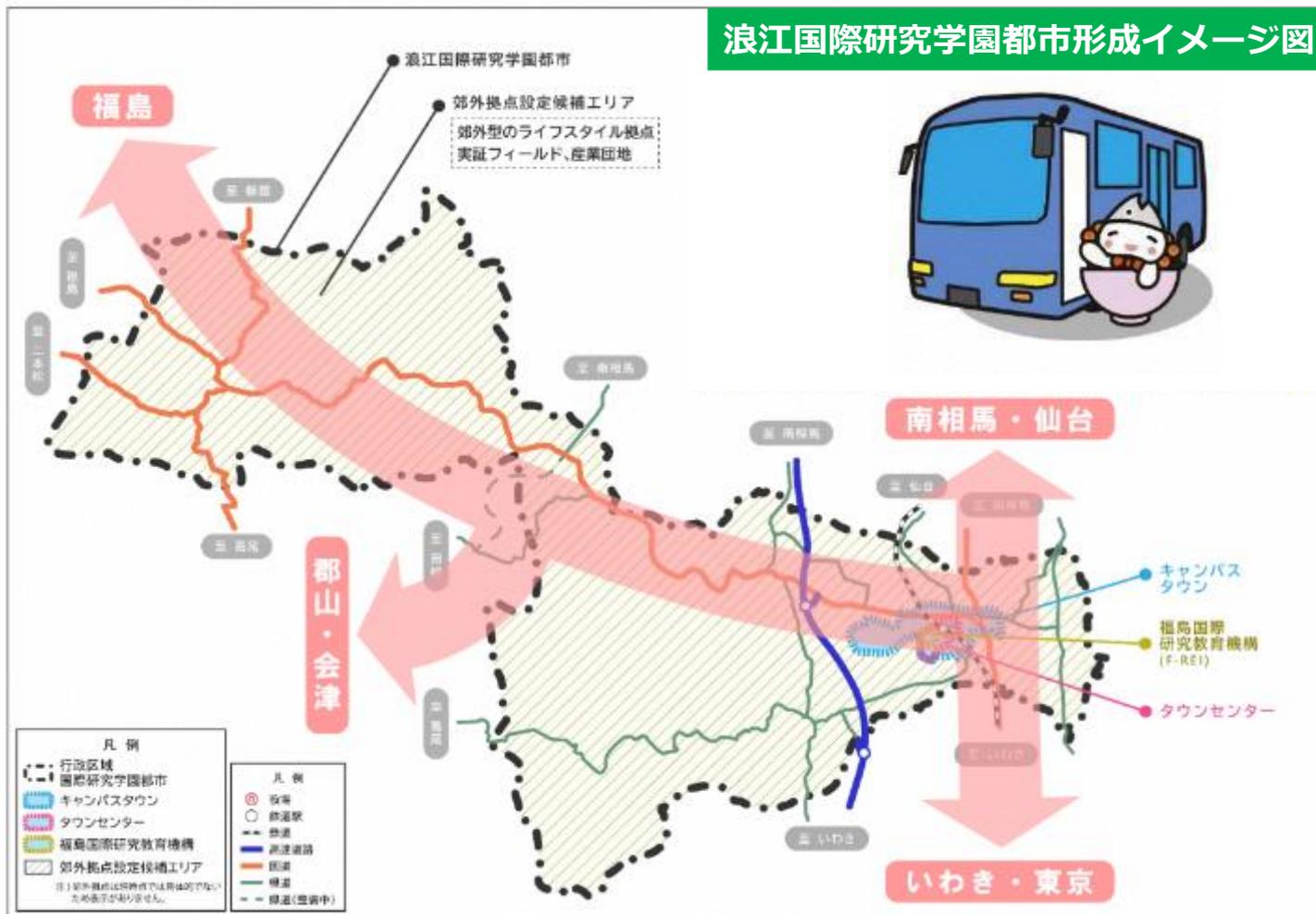
※地域の住民や事業者、復興に関わる団体、様々な研究機関など、浪江町に関わる個人、法人、団体を広く包含



1. 浪江町の概要

F-REIの立地を踏まえたまちづくり

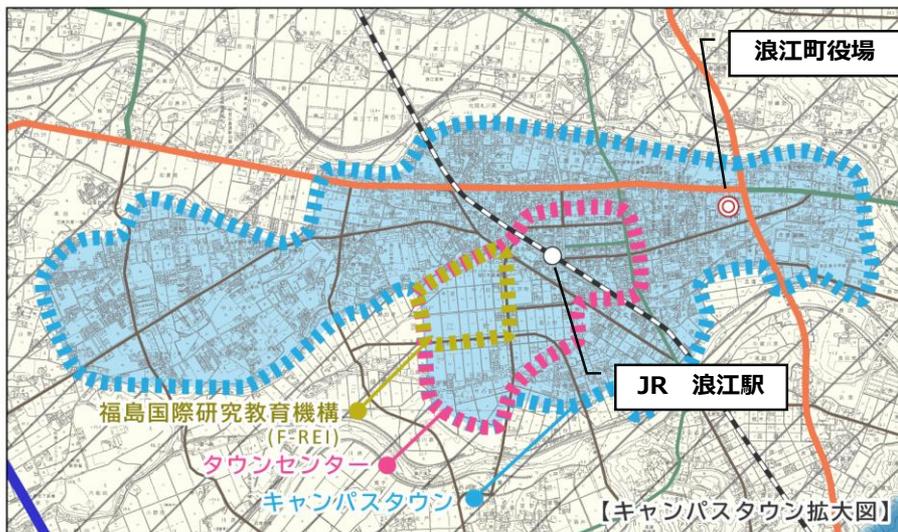
浪江国際研究学園都市構想



1. 浪江町の概要

キャンパスタウンの形成

浪江国際研究学園都市構想



詳しくは、浪江国際研究学園都市構想（浪江町HP）を参照

<https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/34/35478.html>



区分	内容
キャンパスタウン	範囲：おおむね浪江町都市計画の用途地域 <ul style="list-style-type: none">➢ 多様な教育機関や人材育成施設の立地を誘導し、地域とF-REIをはじめとした多様な主体の共生の場となる学園都市を形成➢ 主に民間による土地活用を誘導
タウンセンター	範囲：中心市街地先導整備エリアとF-REI敷地を含むその周辺 <ul style="list-style-type: none">➢ 主に公民連携により都市的サービス（芸術、文化、スポーツ、飲食、娯楽など）や生活利便施設等を誘導➢ 産学官民連携のための施設や産業化に必要な施設などを適切に配置➢ 浪江駅周辺とF-REI本施設とが相乗効果を生みだすような、F-REI本施設が周辺地域に溶け込み、一体的となった街並みと、居心地よく歩きたくなるまちなかを形成し、まちを訪れることが目的となり、何度も訪れたくなるような、魅力的なまちづくりを推進➢ 浪江駅近接の立地条件を活かして、公共による先導的整備と秩序ある土地活用誘導を推進➢ 浪江駅周辺においては、道路、宅地や広場などを一体的に利活用できる仕組みを構築し、民間事業者などによるイベントや様々な活動を誘導し、にぎわいを創出等
郊外拠点	範囲：現時点では、箇所数、位置、規模などは未定 <ul style="list-style-type: none">➢ 地方ならではの自然を感じる生活環境を活かした郊外型のライフスタイルの場➢ 多様な主体の研究成果の産業化などに必要な実証フィールドや産業団地となりうる区域

1. 浪江町の概要

F-REIの立地に伴う浪江町の課題と目標

浪江国際研究学園都市構想

課題1 «コミュニティ形成»

- 町民や、F-REIをはじめとした多様な主体の活動に伴い居住・来訪する国内外のすべての人にとって、共に暮らしやすい環境整備が求められる。
- 研究者、事業者、起業者、地域人材の連携とともに、地域と多様な主体の連携が必要。
- 地域のあらゆる主体が安心して活躍できる環境づくりを進めていくことが必要。



【まちづくり】

目標1 誰もが過ごしやすいまちづくり

方向性

- ▶ 地域と多様な主体の共生を促進するコミュニティ形成
- ▶ 地域と多様な主体の共生を促進する都市整備

課題2 «研究成果の産業化、社会実装»

- 研究者・関係者を浜通り地域に呼び込み、新産業創出や新事業創出を促進するため、ハード面では、時機を逸することがないように、実証フィールドや産業化などに必要な施設などを先行して整備し、ソフト面では、産業化・社会実装を当地域で行う仕組みづくりを行い、多様な主体による研究開発成果の産業化や社会実装化による波及効果を受け止めることが重要。
- 帰還困難区域をはじめとする地域における、生活・自然環境などの再生や、農林水産業再開などの地域・社会課題解決に関して、多様な主体と連携し、先端的研究の成果を活用していくことが求められる。



【産業づくり】

目標2 浜通り・福島県の広域連携による産業振興・雇用創出

方向性

- ▶ 実験・実証しやすい環境づくり
- ▶ 創造的な産業空間づくり
- ▶ 浜通り・福島県全体での価値向上の好循環・連鎖の形成

1. 浪江町の概要

F-REIの立地に伴う浪江町の課題と目標

浪江国際研究学園都市構想

課題3 «人材育成»

- F-REIをはじめとした多様な主体が地域に根付くためには、多様な主体を支える人材を地域において育成し、復興をリードする人材を継続的に輩出できるようにすることが重要。

課題4 «浪江らしさ、浪江の良さ»

- 課題を克服する努力と同様に、これまで培った浪江の良さ、長所を認識し、さらに伸ばしていくことが重要。
- 東日本大震災と原発事故による避難生活を経て、町の伝統文化の承継が難しくなっている。
- 町民が研究人材などと共存して生きがいを感じながら生活していく新たなライフスタイルの実現と、新たな地域アイデンティティの確立が重要。



【つながり】

目標3 国際的な研究環境で活躍し、復興をリードする人材の育成・確保

目標4 伝統文化の承継と新たな浪江文化の創出

方向性

- ▶ 人材や担い手の育成・確保
- ▶ 国際的な学術・教育空間づくり
- ▶ 伝統文化の承継と新たな浪江文化の創出

課題5 «広域的な復興推進»

- F-REIの取組は浜通り地域・福島県（中通り、会津地域）全体の広域的な復興に寄与するものであることに鑑み、浜通り地域・福島県（中通り、会津地域）全体での広域的な連携により、個々の取組が相乗効果を発揮することが重要。
- F-REIをはじめとした多様な主体の連携の効果を高めるよう、浪江町はF-REI立地町として広域的な連携に積極的に貢献することが重要。
- 連携の効果を高めるためには、有機的で密接な交流を行うことが必要であり、研究機関や事業者等の集積の密度を浜通り地域全体で高める必要がある。
- そのため、浜通り地域全体で魅力ある立地環境を整備し、その魅力やインセンティブ等の情報発信等を通じて、研究機関等を引き続き誘致していくことが必要。



【広域的な取り組み全般】

1. 浪江町の概要

F-REIの立地に伴う浪江町の課題と目標

浪江国際研究学園都市構想

未来の浪江町のイメージ 浪江町はこれからどのように変わるでしょうか？

まち・暮らし

- ▶新しく浪江町に住む方々や外国から移り住む方々と共に生活する町になります。町内では、多くの若い人たちがこの地域をどうするかを活発に話し合い、様々な事にチャレンジしています。
- ▶また、研究成果を生活に取り入れて暮らしやすさが向上することや、研究者や学生など多様な方々と住民間の交流も盛んになり、川、山、海の自然に癒され、**一人一人が生き生きと生活**しています。
- ▶さらに、市街地を中心に、居住・滞在する方々などの増加により商業施設や浪江の物産を使う飲食店などが立地し、**毎日がにぎわうまち**になっています。



産業・仕事

- ▶町の中で実証などが当たり前に行われ、**チャレンジできるまち**になり、様々な研究者や大学、企業などが町の中で活動しています。
- ▶これらの研究成果から多くの起業・産業化がなされ、町内企業と交流・連携し、この相乗効果で、さらに**新しいビジネスが生まれ活気があるまち**になっています。
- ▶新しい業態へのチャレンジ、既存業態の深化と発展などにより、多くの雇用が生まれ、都会に行かなくても生活していけるまちになります。



つながり

- ▶世界的な研究者や先端的な研究などと住民が触れる機会が生まれ、子どもたちへの教育施設も充実し、**浪江町から世界に羽ばたく人材**が生まれています。
- ▶様々、浪江町の環境が変わる中で、なくしてはいけない**浪江町の歴史と文化を、新しく浪江町に住む方々なども担い手となり承継**しています。
- ▶また、新たな文化として、常に新しいことに挑戦することが当たり前になり、**新しい浪江町の誇り**が生まれています。



- 1 浪江町の概要
- 2 **事業アイデア提案について**
 - (1) 提案募集の趣旨
 - (2) 提案者の要件
 - (3) 応募方法
 - (4) スケジュール
 - (5) 現地視察会
 - (6) その他
- 3 浪江町役場職員からのコメント
- 4 問い合わせ先
- 5 参考資料 等

2. 事業アイデア提案について

(1) 提案募集の趣旨

公民連携によるまちづくり事業を検討している浪江駅西側地区について、短期（必須）・中期、長期（任意）のまちづくりの提案を募集します。

提案を募集する趣旨

- ・浪江駅とF-REI施設に挟まれた「浪江駅西側地区」において、研究者、外国人、住民、事業者等が共生を目指し、公民連携まちづくりによる共創交流拠点形成事業を検討中。
- ・**浪江駅西側地区公民連携まちづくりに対するアイデア提案を募集。**
- ・枠にとらわれない自由なアイデアと熱意を持った多くの方々からのご提案を期待。



対象地域

- ・エリア：公民連携まちづくりエリア（浪江駅西側）
- ・面積：約10～14ha（今後具体的なエリアを設定）
- ・整備：**土地の整備は浪江町が行い、施設・建物等の整備・運営を民間事業者等が行うことを想定。**浪江町が民間事業者等に土地を貸付。
【参考】浪江町における産業団地の賃貸条件の例
賃貸料：118円/m²/年
※R6年度時点の産業団地の事例。浪江駅西側地区の賃貸料を確約するものではありません。
- ・用途地域：都市計画法に基づく都市計画区域内、用途地域指定済。（現状は準工業地域、第1種住居地域、第1種低層住居専用地域。今後、策定する計画・設計に基づき、必要に応じて用途地域見直しも検討。）

2. 事業アイデア提案について

(1) 提案募集の趣旨

成長、変化のイメージ

短期：現在から概ね10年後（現在～2035年頃）

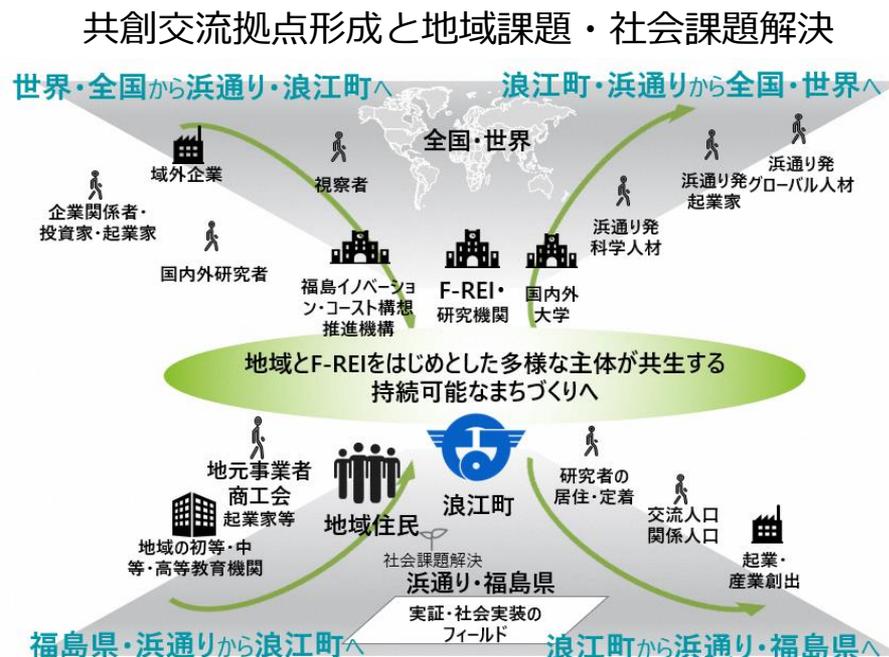
- ・エフレイの本施設が完成し、研究者や従業者、その家族などが浪江町に移住し、衣食住などの需要が増加。**身の丈に合った規模の各種生活利便施設、サービス施設が立地**
- ・地域課題・社会課題をニーズとして捉えたソーシャルビジネス、コミュニティビジネスが共創により発生
- ・成長に合わせた段階的基盤整備（柔軟で拡張性のある工区分割）

中期：概ね10年～30年後（2035年～2050年頃）

- ・エフレイの活動本格化に伴い不足する都市機能の拡充による生活サービス拠点化
- ・都市的・文化的サービスへの需要の増加に対応した各種施設の充実（芸術、文化、スポーツ、飲食、娯楽など）
- ・キャンパスタウン全体への波及効果の発現

長期：概ね30年～50年後（2050年～以降）

- ・キャンパスタウンの高密度化
- ・タウンセンターの機能更新



2. 事業アイデア提案について

(2) 提案者の要件

(1) 要件



- 提案に対して、提案者が単独で実施主体、又は、提案者が実施主体の構成員、又は、提案者が他の事業者と協働して実施主体 となる意思を持って提案する者
 - ※ 法人、任意団体、個人のいずれかは問いません。
 - ※ 現時点での実施主体（構成員や代表者等）が確定している必要はありません

(2) 提案者像の例示



- 浪江町の地域経営の主体側の関係者として事業に参加いただける方
- 浪江町や他の事業者との共創に自社の技術やソリューションを提供いただける方
- 浪江町において、事業主体としてコミュニティビジネスや実証・実装に取り組んでいただける方
- 自社だけでなく他の事業者と共創して解決したい課題、悩みごと、困りごとがある方
 - ※ 連携チームの組成を促進する対話交流活動を町が実施しますので、自社単独での参画が困難であっても提案可能です。

(3) 提案者の立ち位置、役割の例示



- 企画・ファイナンス・事業スキーム組成・組織組成・計画設計・建設整備・運営管理の全部または一部（ただし、自らも地域経営への参画や提案実行主体（その構成員）になることを前提としてください）
- 開発者、デベロッパー、事業組成者、テナント、施設利活用者、施設運営者、施設管理者の全部または一部（パーツで提案可能）

 浪江町 ※ 連携チームの組成を促進する対話交流活動を町が実施しますので、自社単独での参画が困難であっても提案可能です。

2. 事業アイデア提案について

(3) 応募方法

応募期間 7月31日（水）～10月11日（金） 17:00

応募先 担当課 浪江町市街地整備課
メール namie-suk@town.namie.lg.jp
(電話 0240-23-6927)

応募資料

※任意様式

➤ 提案書

- **短期（現在から概ね10年）的に実施できる事業提案を必須。**
- 中長期的な提案は任意とします。短期的な事業提案から続くものとして、中長期的な浪江駅西側地区における公民連携まちづくり事業を提案すること。
- 提案書には、**次スライドの項目を記載すること。**
- A4用紙両面8枚（16ページ）を上限とし、フォントサイズは12ポイント以上とします。
- 提案書と別冊で、パンフレット、カタログ、報告書等を添付することは可能。
- 上記によりがたい場合はご相談ください。

浪江町HP 浪江駅西側地区公民連携まちづくりアイデア提案募集ランディングページ
<https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/34/36687.html>



二次元バーコード

2. 事業アイデア提案について

(3) 応募方法

提案書記載項目

【必須項目】

- ✓ 提案区分（「地域経営主体」と明記してください）
- ✓ 提案者名（法人団体名・部署名・構成員・代表者氏名・役職）
- ✓ 提案概要、特徴
- ✓ 事業主体・組織構成に関すること
- ✓ 土地利用、施設整備に関すること、必要敷地面積の概数（テナントのみの提案については、必用床面積の概数）
- ✓ 施設運営に関すること
- ✓ 提案の実現可能性、持続可能性に関すること
- ✓ まちづくりへの協力に関すること（まちなみ・景観形成・エリアマネジメント等）
- ✓ 浪江駅周辺整備事業との相乗効果に関すること

【任意項目】

自由記載

- ✓ 浪江駅西側地区において取組む意義や当地区の適性に関すること
- ✓ 本提案で解決する地域課題に関すること
- ✓ 本提案で活用する技術やソリューションと実証・実装に関すること
- ✓ 地域住民や地域の事業者、関係団体との連携に関すること
- ✓ 広域的波及効果や浪江町外との広域連携に関すること
- ✓ 地域の価値向上、魅力向上に関すること
- ✓ 地域資源の活用や、地域の歴史文化の承継に関すること
- ✓ 工区分割に関すること、事業工程に関すること
- ✓ 提案実現のための要件、実現可能性向上のための浪江町に対する要望 等

【不可提案】

※右記の提案は不可

- ✓ 単なる自社プロダクトの営業提案
- ✓ 自社が関与しない提案
- ✓ 浪江町に対する要望のみで構成された提案

2. 事業アイデア提案について

(4) スケジュール

段階	項目	予定時期※1
検討精査	アイデア提案募集 枠にとらわれない街づくりアイデアの提案を募集する。 ※アイデア提案の内容は事業者公募にあたっての事業予定者の審査に際して、加点されません。	～令和6年10月末
	事業者提案発表会・交流会 提案事業者が町民や連携を求めたい事業者に向けてプレゼンする。また、多様なまちづくりの担い手の巻き込み、チーム組成、マッチングに向けた顔合わせの交流会を行う。	～令和6年11月頃
	内部検討・調整 浪江町役場としてのまちづくりのコンセプト、ゾーニング、短期～長期の段階的な目標設定、公募要件等を精査する。	～令和7年3月
	サウンディング調査 事業者に、公募前段階の募集条件、事業構想案について意見交換する。	～令和7年5月
	構想等見直し サウンディング調査の結果をふまえ、事業構想として必要な要素や視点を追加し、内容を修正。	～令和7年12月
事業者公募	パートナー企業公募 公募要領・仕様内容・事業構想を公開し、パートナー企業募集のための公募を行う。必要に応じて現地調査・説明会なども実施を想定。	～令和8年2月
	選定(プロポーザル方式を想定) 希望者より提案書提出及びプレゼンテーションを実施いただき、パートナー企業を選定する。	～令和8年3月
	協定・契約 パートナー事業者と条件調整を行い、協定締結。基盤整備完了後、契約締結し、土地引き渡し。	～令和8年
整備	基盤整備に係る基本設計、実施設計 町による基盤整備設計にパートナー企業等の意向を反映。	～令和8年
	基盤整備 町による基盤整備。	～令和11年
	民間整備 テナント募集・整備。	～令和13年

2. 事業アイデア提案について

(5) 現地視察会

本提案への応募をご検討の皆様を対象として、浪江町の現地をご案内します。より良い提案検討のため現地を実際に見ていただき、浪江町への理解を深めていただく場です。是非、現地視察にお越しくください。

日時 第1回 8月23日(金) 13時30分から17時00分
第2回 9月 3日(火) 13時30分から17時00分
※2回とも内容は同じです。

集合場所 J R 浪江駅

定員 30名程度/各回
※申し込み多数の場合、同一企業、同一団体、同一グループからの参加人数を制限させていただく場合があります。その場合に、参加者人数調整にご協力をお願いします。

主な視察先 浪江駅周辺整備事業、浪江駅西側地区、F-REI施設予定地周辺、道の駅なみえ、震災遺構 請戸小学校、町内産業団地、町内農林水産業関連施設、地域資源 等

申込方法 下記浪江町 HPよりお申し込みください
URL:<https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/34/36687.html>



二次元バーコード

注意事項 ● 参加費無料。浪江駅までの交通費は参加者負担。
※参加に当たり、必要に応じて各自傷害保険にご加入ください。

2. 事業アイデア提案について

(6) その他

提案イメージ①

以下は例示となります。例示にとらわれず自由に提案が可能です。

(1) 提案いただきたいテーマの例



- 浪江駅周辺整備事業と浪江駅西側地区公民連携まちづくり事業が一体的となった、居心地よく歩きたくなる街並みを形成し、相乗効果をもたらすデザインまちづくり共創拠点形成
- 相乗効果地域課題・社会課題解決の実践を通じたソーシャルビジネス・コミュニティビジネス創出や人材育成の場となる共創拠点形成
- 外国人や研究者受け入れ、多文化・異文化交流などに関連する事業集積を行い、新たな産業文化を創出するホスピタリティ交流拠点形成
- 日本や浪江町の伝統文化、職人技術や伝統工芸の承継と、他産業との融合や新事業創出する共創拠点形成
- 町のあらゆる日時、場所で、誰もが学び、伝え人材育成を行う町まるごとキャンパス化を推進する共創拠点形成
- 交通・モビリティ実験実証、産業化、社会実装共創拠点形成
- 水素活用都市整備共創拠点形成/スマートシティ共創拠点形成
- 誰もが過ごしやすいまちづくりと、そのためのランドスケープや風景づくりを他の新事業創出につなげていく共創拠点形成
- 100年、200年先を見据えた長期的にも発展し続けるまちづくりに必要な技術、考え方の標準化を行い産業化する共創拠点形成

2. 事業アイデア提案について

(6) その他

提案イメージ②

以下は例示となります。例示にとらわれず自由に提案が可能です。

(2) 提案いただきたいアイデアの例



- 研究を推進するための社会実装・実証施設及びショールーム（水素活用のライフスタイル住宅展示場、研究成果等を活用した人材育成施設）
- 多文化・異文化交流施設（お祈りの場（レンタルルーム、祭礼具用の貸しロッカー、宗教行事のお祭りなど相互理解イベントの場、宿泊施設、）
- 日本や浪江町の伝統文化を伝える教室や体験施設など
- ランドスケープや風景づくりに関する提案
- 100年、200年先を見据えた長期的にも発展し続けるまちづくりアイデア提案
- 芸術、文化、スポーツ、飲食、娯楽などを提供する施設（ギャラリー、工房、フィットネスジム、ヨガスタジオ、ダンススタジオ、レストラン、カフェ、バー、居酒屋、遊技場など）
- 日常生活全般にかかわる店舗・利便・サービスを提供する施設（物販、食料品、医療、福祉、教育など）
- その他、研究者、外国人向けのサービス施設

※提案は自社ができることだけで可

※収益事業についても自由に提案に盛り込んでください

2. 事業アイデア提案について

(6) その他

提案の取扱い

- 提案されたアイデアに基づき、町と提案者の対話を行い、その対話が今後の町による浪江駅西側地区の基本計画、基本設計、事業計画などに反映され、対話に即した基盤整備が行われます。
⇒提案者の提案と当地区の計画・設計の整合性が高まり、最終的な事業者選定の際に有利となる可能性があります。
 - パートナー企業選定前から浪江町との対話が可能であり、オーダーメイドに近い状態で基盤整備が行われます。
⇒提案者が撤退するかもしれないリスクを町が負いますが、提案者にはペナルティがありません。
- ※なお、すべてのご提案が計画設計に反映されるものではないことをご留意願います。

2. 事業アイデア提案について

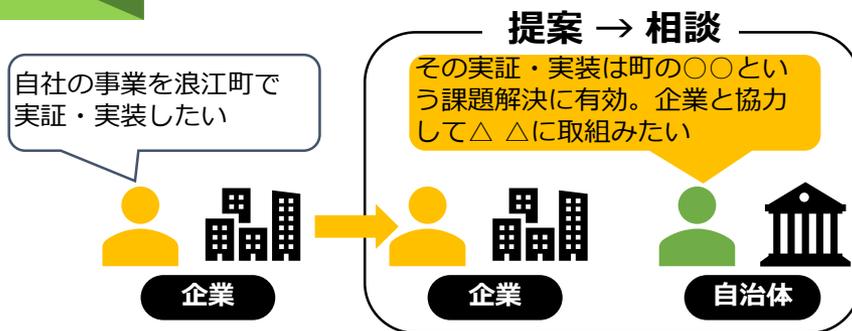
(6) その他

参画のメリット

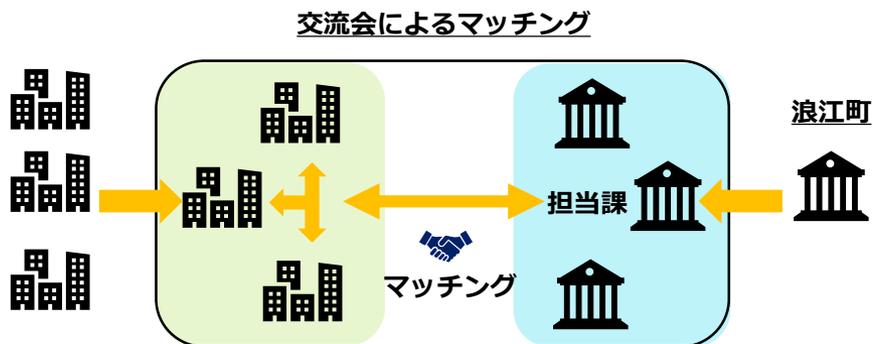
1 参画している自治体担当者のより現場感のある生の声を得られる



2 開発の上流部分から政策提言できる



3 交流会により同じ方向性の熱意のある企業、熱意ある職員とマッチングが望める



4 幅広いプレイヤーの方々との連携業務に取り組むことで、今後の事業展開の幅が広がる



目次

- 1 浪江町の概要
- 2 事業アイデア提案について
 - (1) 提案募集の趣旨
 - (2) 提案者の要件
 - (3) 応募方法
 - (4) スケジュール
 - (5) 現地視察会
 - (6) その他
- 3 浪江町役場職員からのコメント**
- 4 問い合わせ先
- 5 参考資料 等

3. 浪江町役場職員からのコメント

浪江町役場職員紹介・コメント

職員紹介



氏名 横山 芳幸
職歴 浪江町役場
趣味 ゴルフ、ガンダム、
酒、軽快なトーク

【本事業に対するコメント】

令和6年度 浪江町の公民連携がスタートします！
長期的に変わる まちづくり
浪江駅周辺の様々な機能が融合した賑わいづくり
そこで暮らす人々の幸せづくり
共に作っていきませんか？
みなさまからの、魅力的な提案をお待ちしています。



氏名 猪木 亮
職歴 赤磐市役所
浪江町役場(応援隊)
趣味 地元の人と仲良くなる、カメラ、料理

【本事業に対するコメント】

浪江駅西側地域は、今はまだ無色。提案いただくアイデアによって、赤色にも青色にも、にじ色にだってなり得ます。町に暮らす人や訪れる人たちだけでなく、まちづくりに携わる私たちも、みんながワクワクできるような特色ある提案をお待ちしています。

当町と連携して推進していただける熱意を持った多くの方々からの提案をお待ちしております！

目次

- 1 浪江町の概要
- 2 事業アイデア提案について
 - (1) 提案募集の趣旨
 - (2) 提案者の要件
 - (3) 応募方法
 - (4) スケジュール
 - (5) 現地視察会
 - (6) その他
- 3 浪江町役場職員からのコメント
- 4 問い合わせ先
- 5 参考資料 等

4. 問い合わせ先

担当窓口

担当窓口

担当課	浪江町市街地整備課
メール	namie-suk@town.namie.lg.jp
(電話)	0240-23-6927)

浪江町HP 浪江駅西側地区公民連携まちづくりアイデア提案募集ランディングページ
<https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/34/36687.html>



二次元バーコード

目次

- 1 浪江町の概要
- 2 事業アイデア提案について
 - (1) 提案募集の趣旨
 - (2) 提案者の要件
 - (3) 応募方法
 - (4) スケジュール
 - (5) 現地視察会
 - (6) その他
- 3 浪江町役場職員からのコメント
- 4 問い合わせ先
- 5 参考資料 等

(参考) F-REI ロードマップ (イメージ)

<参考6>

国際教育研究拠点の人員規模について①(規模のイメージ)

【1. 拠点の人員規模(イメージ)】

➤ 研究員等

研究分野(5) × 研究室数(5) × 1研究室規模(約10人) = 約250人

※1 研究室はグループ長、主任(上級)研究員、研究員、技術員、
リサーチアシスタントで構成

※2 1分野5研究室については第2回田所委員提出資料を参考

➤ 大学院生等

研究分野(5) × 研究室数(5) × 1研究室(約6人) = 約150人

➤ 産学官連携・管理運営スタッフ

= 約200人

※産学官連携部門、管理部門、事務職員等

計 約600人

【2. 浜通り地域のイノベ構想関係機関全体の人員規模(イメージ)】

➤ 国際教育研究拠点約600人 + 既存拠点※の人員約400人 = 約1,000人規模

※既存拠点の人員はJAEA(廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟、楡葉遠隔技術開発センター、大熊分析・研究センター、福島環境安全センター)、福島ロボットテストフィールド、福島水素エネルギー研究フィールド、福島県浜地域農業再生研究センター、福島県原子力災害伝承館、福島県環境放射線センターで構成

【3. 地域への関連雇用波及効果(イメージ)】

➤ 産学官連携により、拠点関連で約5,000人規模の雇用創出を目指す。

➤ 加えて、イノベーション・コースト構想の具現化で更なる雇用創出を目指す。

(参考) 鶴岡市サイエンスパーク：拠点の人員規模約150人 → 地域雇用者数約550人
神戸医療産業都市：拠点の人員規模約2,700人 → 地域雇用者数約11,000人

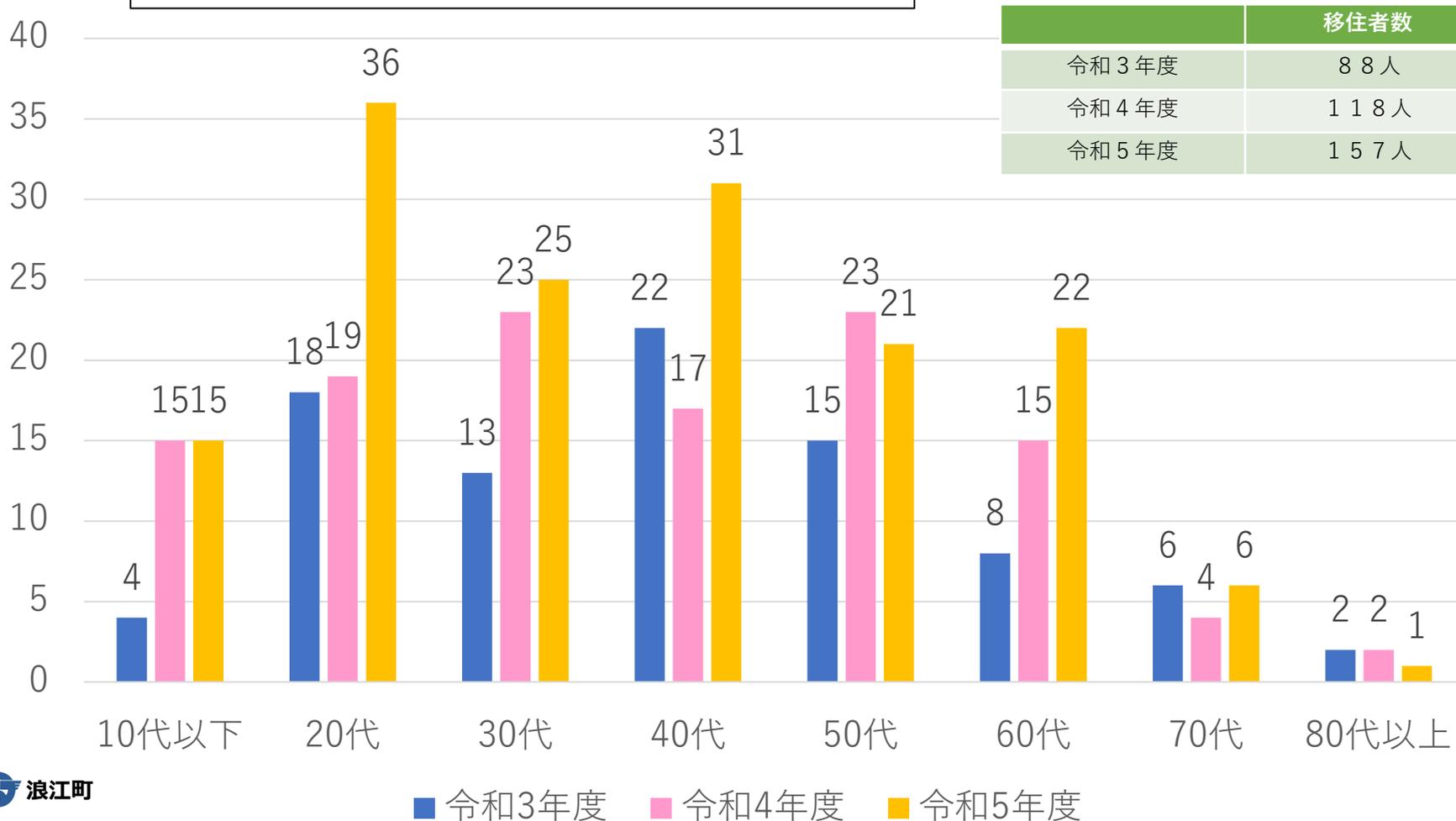
出典：国際教育研究拠点に関する最終とりまとめ－福島浜通り地域の復興・創生を目指して－
(令和2年6月8日 福島浜通り地域の国際教育研究拠点に関する有識者会議)

5. 参考資料 等

(参考) 年度別移住者数

年代別

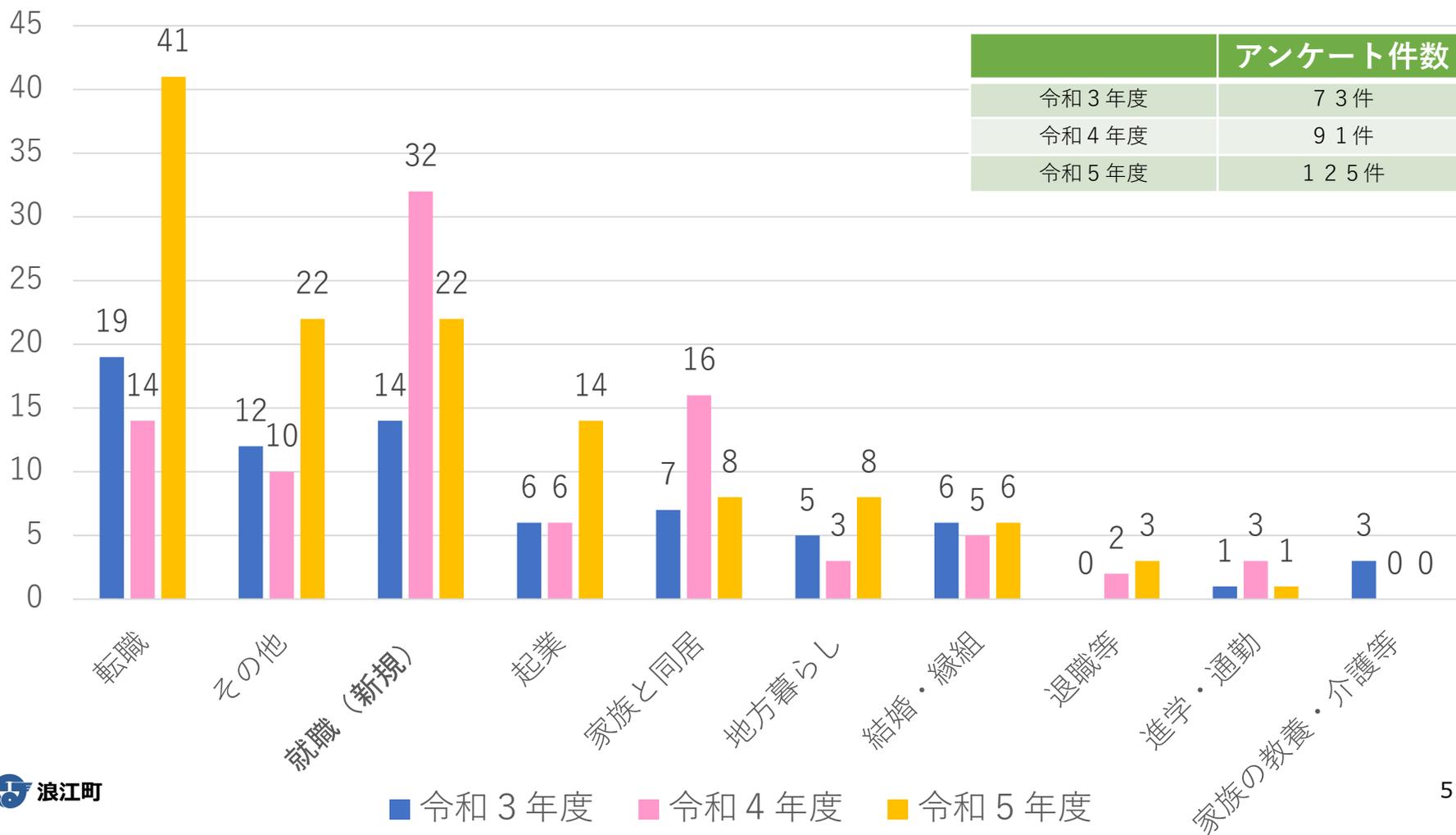
【移住の基準（福島県基準に準拠）】
 ①概ね5年以上、居住する意思を持ち移り住むこと。
 ②転勤や進学等による一時的な転入ではないこと。



	移住者数
令和3年度	88人
令和4年度	118人
令和5年度	157人

5. 参考資料 等

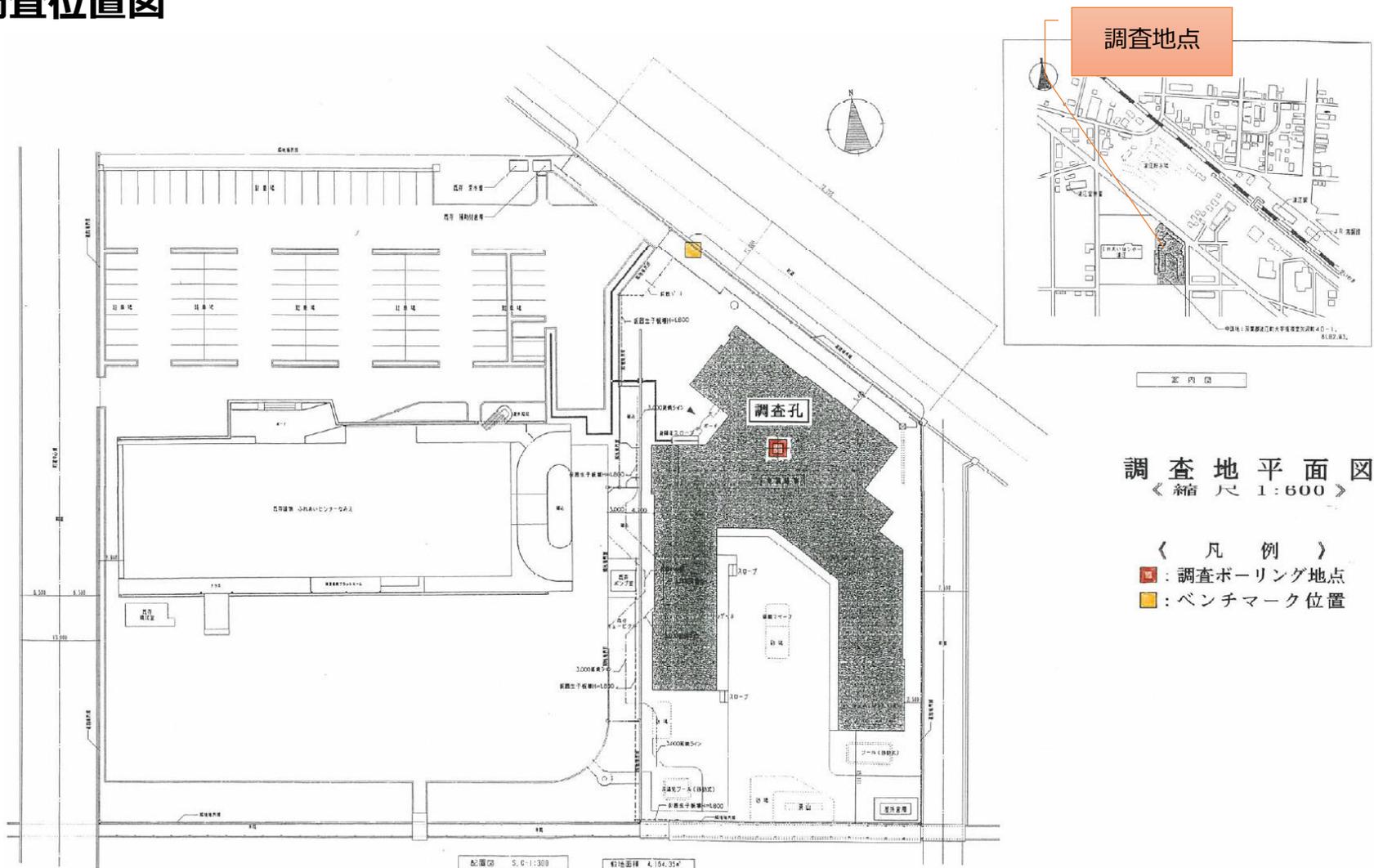
(参考) 年度別移住理由



5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江保育所改築工事地質調査)

調査位置図



5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江保育所改築工事地質調査)

柱状図

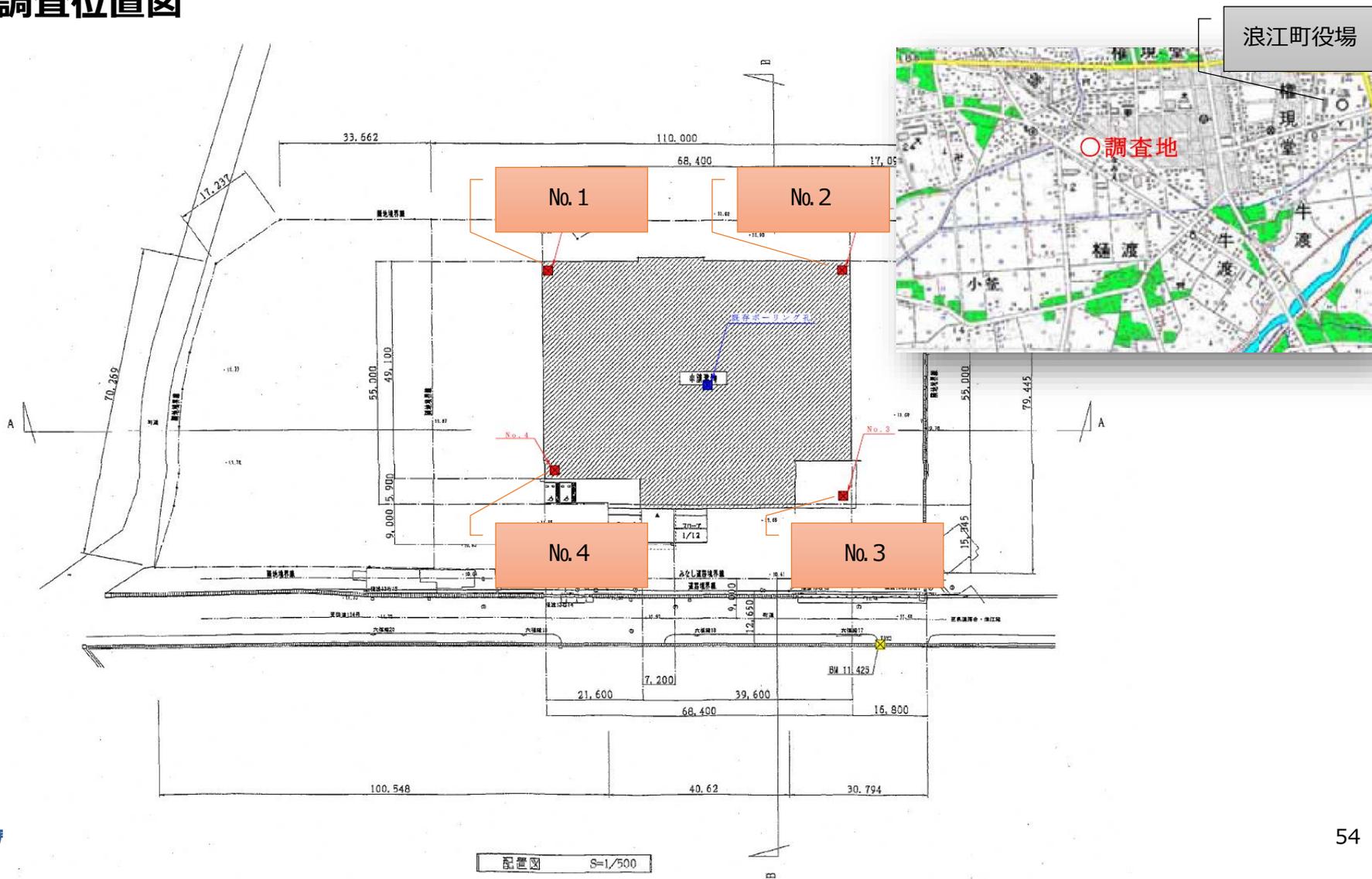
ボーリング名	調査孔	調査位置	福島県双葉郡浪江町権現堂字矢沢町地内			北緯
発注機関	浪江町役場		調査期間	平成11年 6月17日~11年 6月19日		東経
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)	主任技師	前田正幸	現場代理人	永井邦彦	ボーリング責任者
孔口標高	11.74m	角	180°上 90°	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	コンプレー
総掘進長	23.45m	度	180°下 90°	向	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	ハンマー 落下用具
				使用機種	東邦D1-B型	エンジン
					ヤンマーNS75型	ポンプ
						東邦BG-3型

標高 尺 (m)	層厚 厚 (m)	深度 度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験		試料採取 深 (m)	採取 方法	掘 進 月 日	
									深 度 (m)	10cm この 打撃回数	20 1020	30 2030	深 度 (m)	試験名 および結果				
10.68	1.05	1.05	盛土	盛土	褐色	緩い		砂礫主体。φ60mm以下の礫30%前後混入。φ20~30mm主体。	8/17 1.60	1.15	1	1	3					
9.74	0.95	2.00	シルト質粘土	シルト質粘土	黒褐色	軟らかい		少量の細砂混入し、軟質。有機物混入する。	1.47 2.28	1	1	1	3					
8.74	1.00	3.00	シルト質細砂	シルト質細砂	灰色	非常に緩い		シルト分約20%程度均一に混入。有機物少量混入。非常にルーズ。	3.00 3.48	0	1	2	1	46				
5.24	3.50	6.50	有機質シルト	有機質シルト	黒褐色	非常に軟らかい		全体に有機物を混入し、非常に軟弱な様相を呈している。深度4.10~4.40m間は有機物の混入非常に多い。また所々に少量の細砂混入し、深度4.50m以深所々黄灰色帯びる。	4.00 4.50 5.00	0	2	2	1	50				
3.24	1.90	8.40	シルト混じり細砂	シルト混じり細砂	灰色	緩い		全体に不均一にシルト分混入。有機物少量混入。緩い。	5.48 6.15 6.50	1	1	2	1	46				
2.04	1.30	9.70	粘土質シルト	粘土質シルト	黒褐色	軟らかい		深度0.30m超細砂主体。以深粗砂主体でφ10mm以下礫若干混入。	7.15 7.45 8.15	1	1	2	4	30				
1.49	0.55	10.25	シルト質細砂	シルト質細砂	灰色	緩い		細砂10~20%均一に混入。有機物少量混入。軟質。	8.48 9.13	0	7	7	20					
-0.38	1.85	12.10	粘土質シルト	粘土質シルト	黒褐色	軟~極軟		深度1.1, 1.0mまでシルト分の混入やや少ない。有機物少量混入。以深、シルト分30~40%均一に混入。	9.45 10.15	1	2	3	6	30				
-1.56	1.20	13.30	シルト質細砂	シルト質細砂	灰色	緩い		φ10mm以下の礫。玉石を80~70%混入し、所々粗砂少量混入。基質部は粗砂で含水多、孔壁崩壊する。	10.45 11.15	1	1	2	4	34				
-3.31	1.45	15.05	砂礫	砂礫	灰色	緩い		細砂10~20%均一に混入。有機物少量混入。下尺細砂30%混入。	11.49 12.27	1	1	1	3	32				
-8.06	4.75	19.80	強風化砂岩	強風化砂岩	緑灰色	緩い		シルト分20%以下混入。ルーズ。	13.00 13.50	0	1	1	1	50				
-9.26	1.20	21.00	風化砂岩	風化砂岩	緑灰色	中位		φ10mm以下の礫。玉石を80~70%混入し、所々粗砂少量混入。基質部は粗砂で含水多、孔壁崩壊する。	13.50 14.15	21	19	10	50	28				
-11.71	2.45	23.45	砂岩	砂岩	緑灰色	非常に密な		砂岩強風化部。未固結で砂状呈す。含水やや多く緩い状態で、孔壁崩壊しやすい。所々黄褐色帯びる。	14.43 15.15	2	3	4	9	32				
								砂岩風化部。未固結で砂状を呈す。細砂主体だが所々粗砂混入する。	15.47 16.15	2	2	2	6	32				
								新第三紀の堆積性軟岩。未固結なため細砂状呈し、所々若干疎く固結。深度21.70~22.80m間は、比較的緩い。	16.47 17.15	2	2	2	6	32				
									17.48 18.15	4	4	5	13	30				
									18.45 19.15	5	5	7	17	31				
									19.46 20.15	7	9	12	28	31				
									20.46 21.15	14	19	17	50	24				
									21.38 22.15	11	13	16	40	30				
									22.45 23.15	13	17	20	50	25				
									23.40									

5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江町体育館建設工事地質調査)

調査位置図

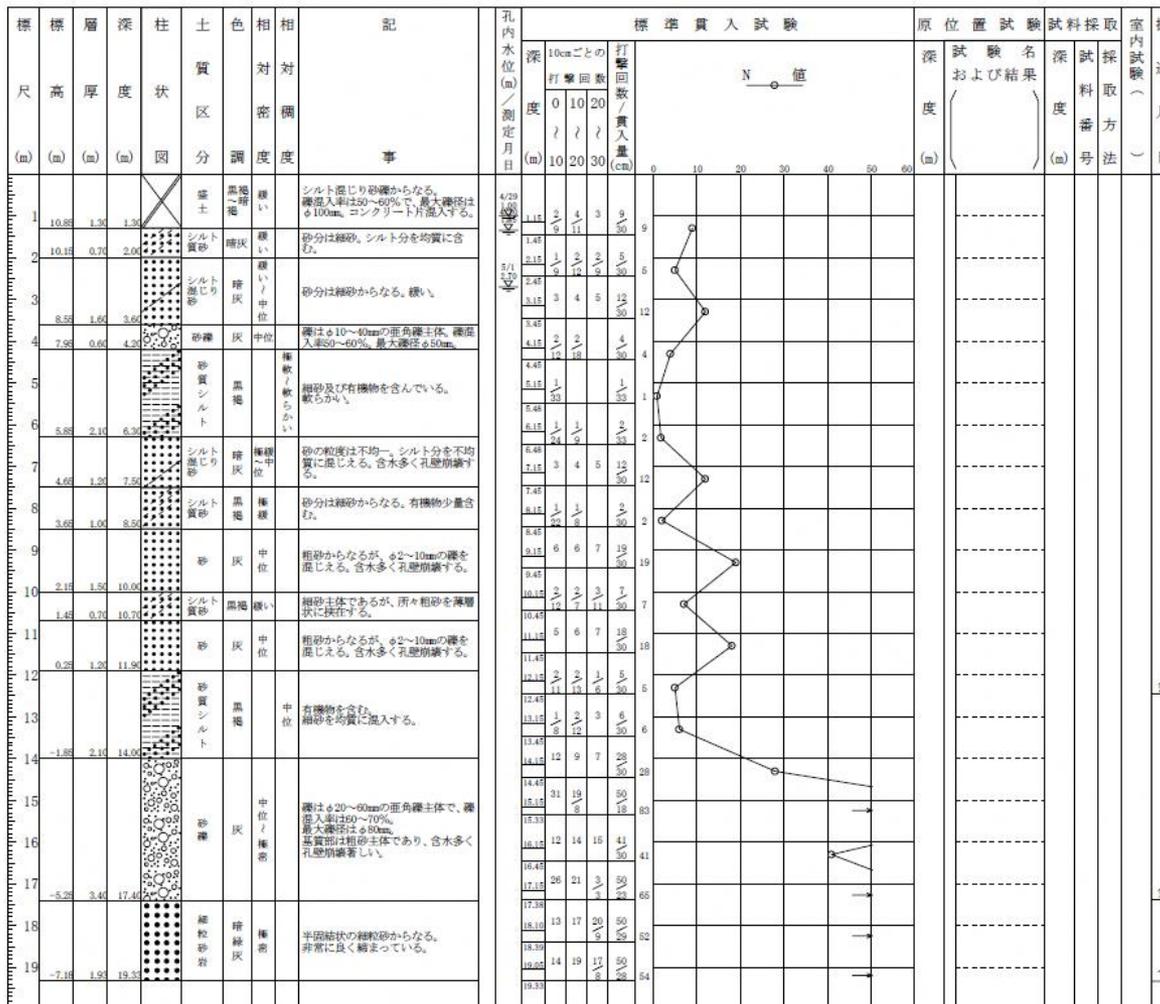


5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江町体育館建設工事地質調査)

柱状図No. 1

ボーリング名	No. 1		調査位置	双葉郡浪江町大字権現堂宇柳町地内			北緯	37° 29' 33.7"		
発注機関				調査期間	平成 22年 4月 29日 ~ 22年 5月 1日		東経	140° 59' 17.7"		
調査業者名	有限会社 木幡ボーリング工業所 電話 (0240-35-3270)		主任技師	木幡民男		現場代理人	佐藤文仁		ボーリング責任者	片山正明
孔口標高	12.15m	角			地盤勾配			使用機種	東邦D0D型	
総掘進長	19.33m	度			使用機種	EA-12		ポンプ	ハンマー落下用具 半自動型 東邦BG-3型	

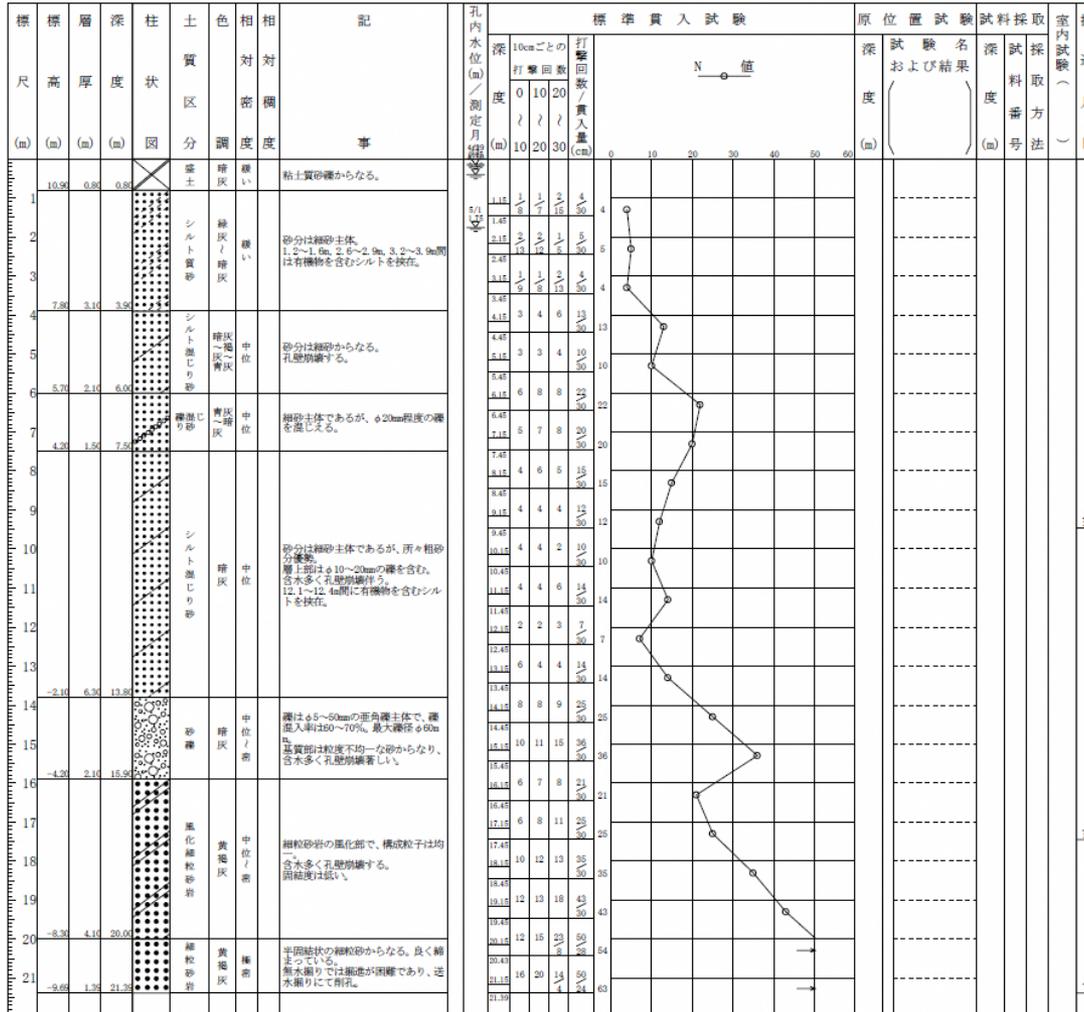


5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江町体育館建設工事地質調査)

柱状図No. 2

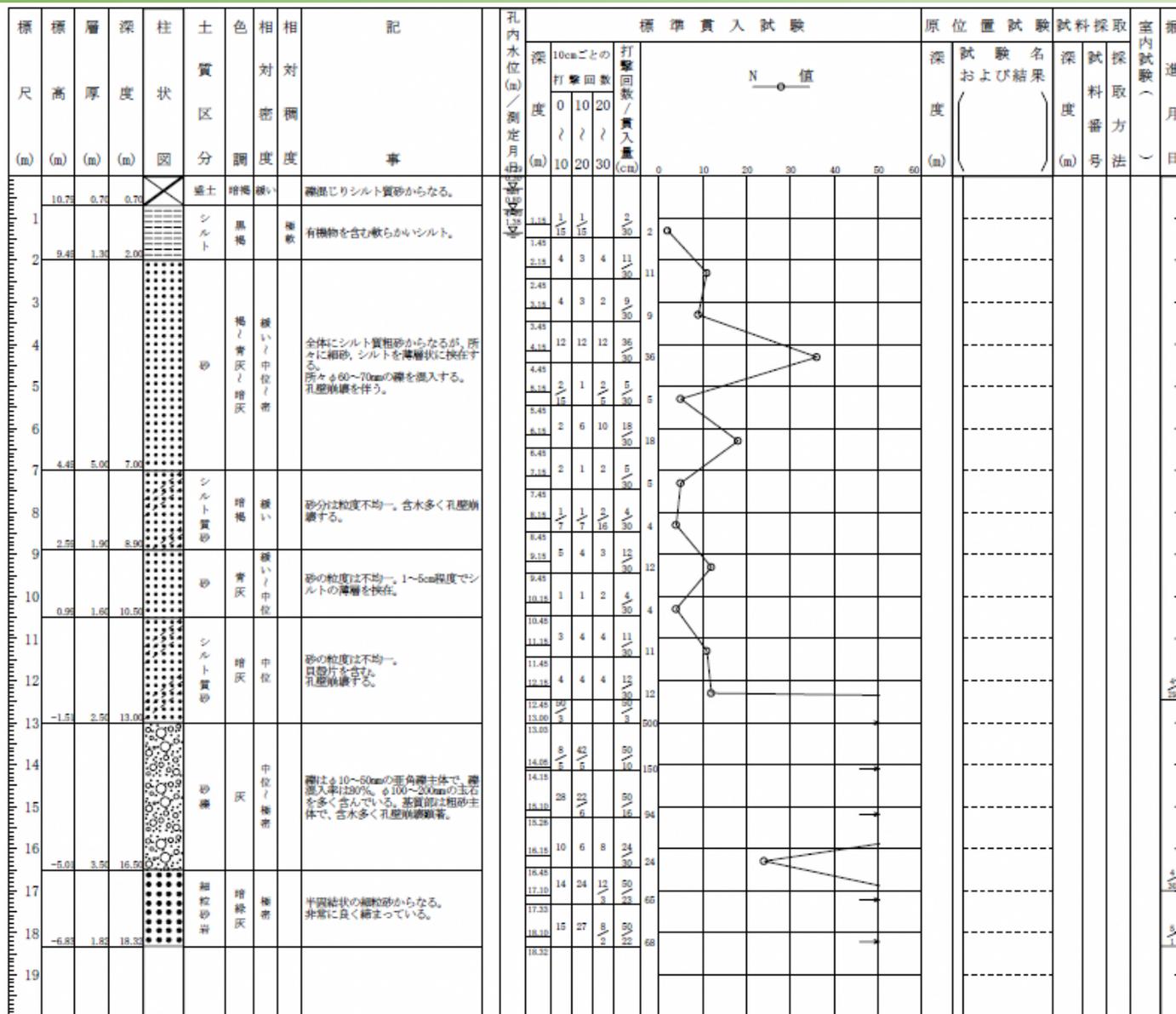
ボーリング名	No. 2		調査位置	双葉郡浪江町大字権現堂字柳町地内			北緯	37° 29' 32.9"		
発注機関				調査期間	平成 22年 4月 29日 ~ 22年 5月 1日		東経	140° 59' 19.4"		
調査業者名	有限会社 木幡ボーリング工業所 電話 (0240-35-3270)		主任技師	木幡民男		現代場 代理人	佐藤文仁 コ ア 鑑定者 佐藤文仁		ボーリング 責任者	橋浦 信
孔口標高	11.70m	角	150°	方	北 0°	地盤勾配	使用機		試験機	ハンマー 落下用具
総掘進長	21.39m	度	90°	向	270°	90°	エンジン		EA-12	ポンプ
										半自動型
										吉田 PD-5 型



5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江町体育館建設工事地質調査)

柱状図No. 3

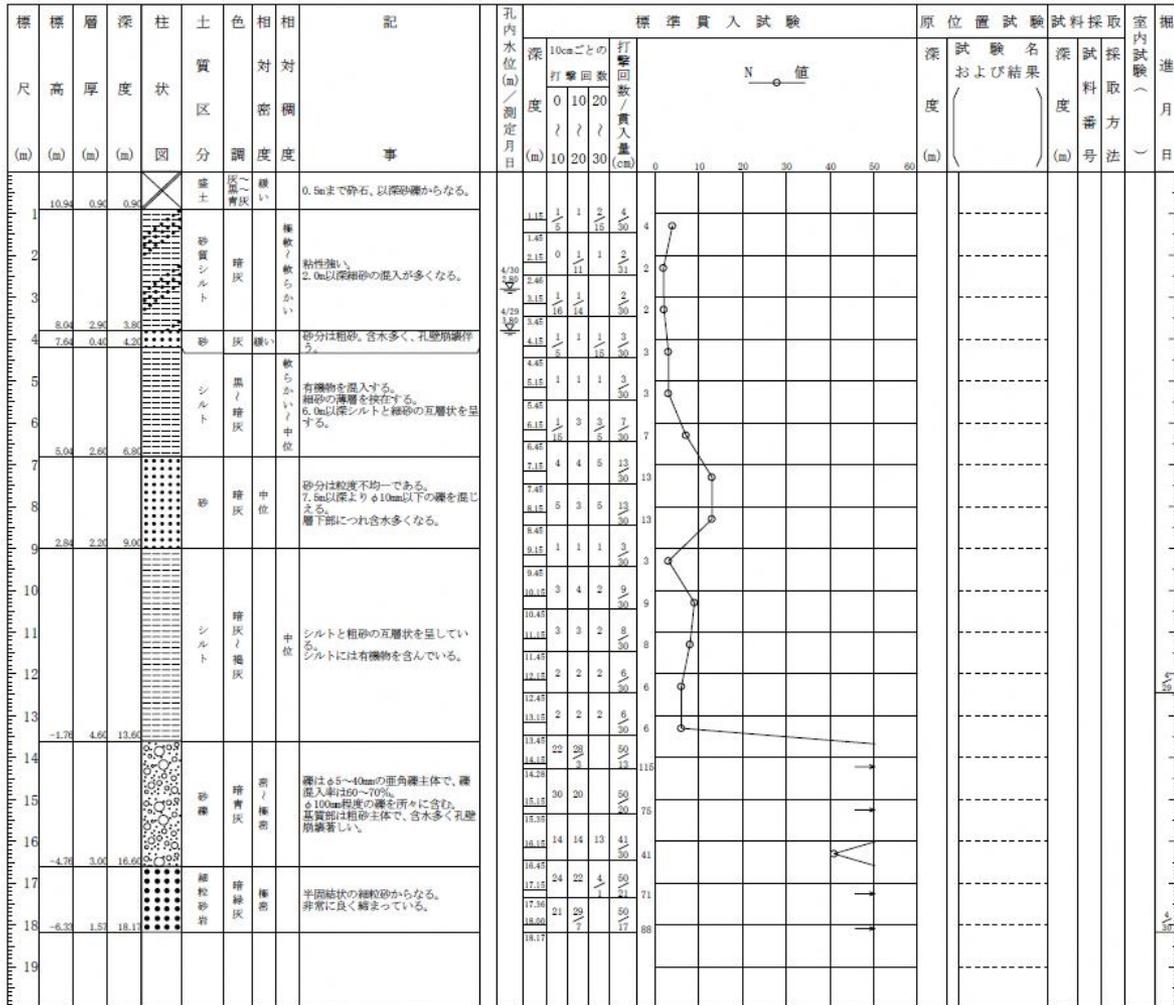


5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江町体育館建設工事地質調査)

柱状図No. 4

ボーリング名	No. 4	調査位置	双葉郡浪江町大字権現堂字柳町地内			北緯	37° 29' 32.4"
発注機関				調査期間	平成 22年 4月 29日 ~ 22年 4月 30日		
調査業者名	有限会社 木幡ボーリング工業所 電話 (0240-35-3270)	主任技師	木幡 民男	現 場 代 理 人	佐藤文仁 コ ー ー 定 者	佐藤文仁	ボーリング責任者 佐藤 教史
孔口標高	11.84m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	約 平 0° 約 面 90°
総掘進長	18.17m	使用機種	東邦 D-1 型		ハンマー 落下用具	半自動型	
		エンジン	EA-12		ポンプ	東邦 BG-3 型	

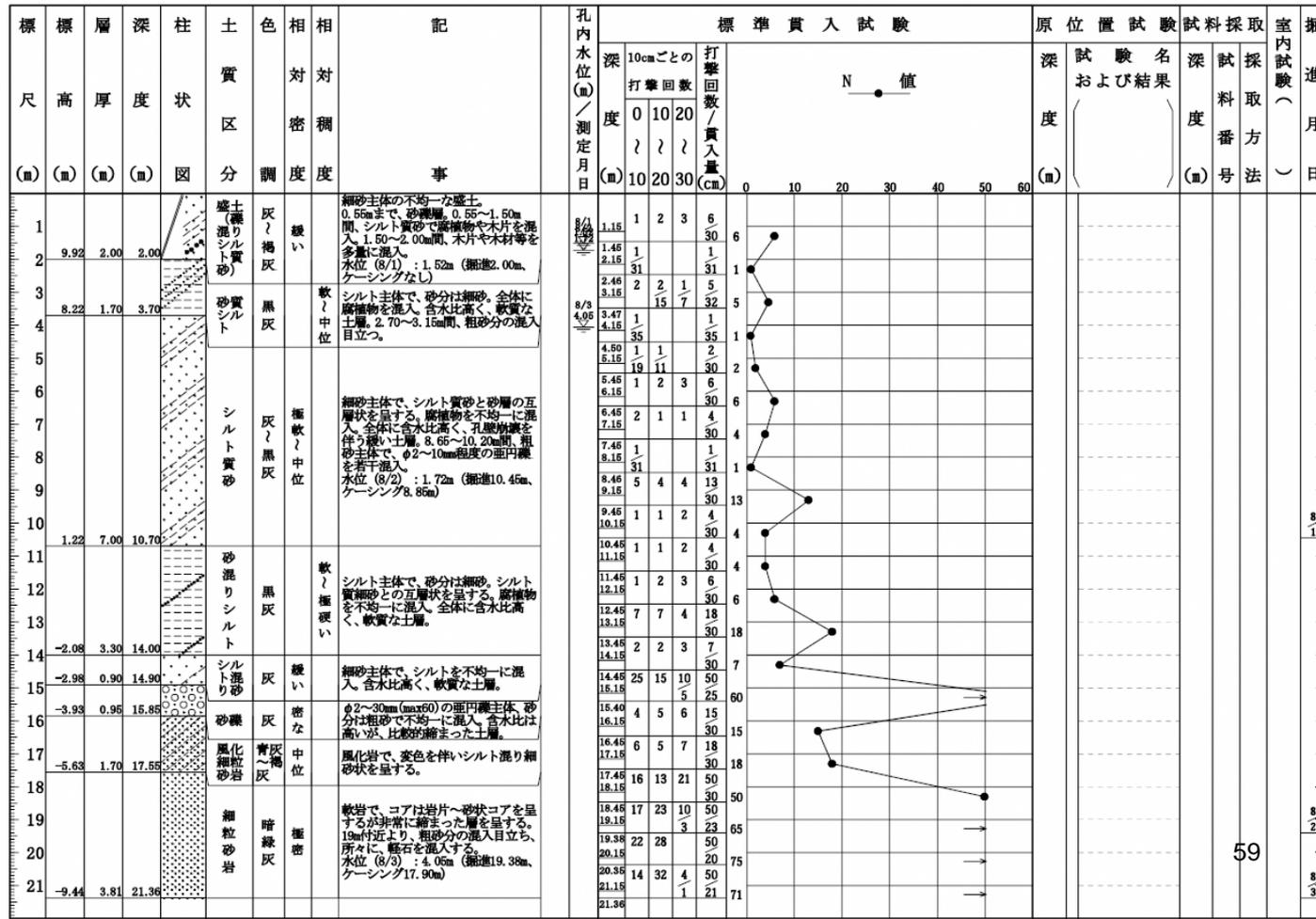


5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (浪江町体育館建設工事地質調査)

柱状図(過去調査)

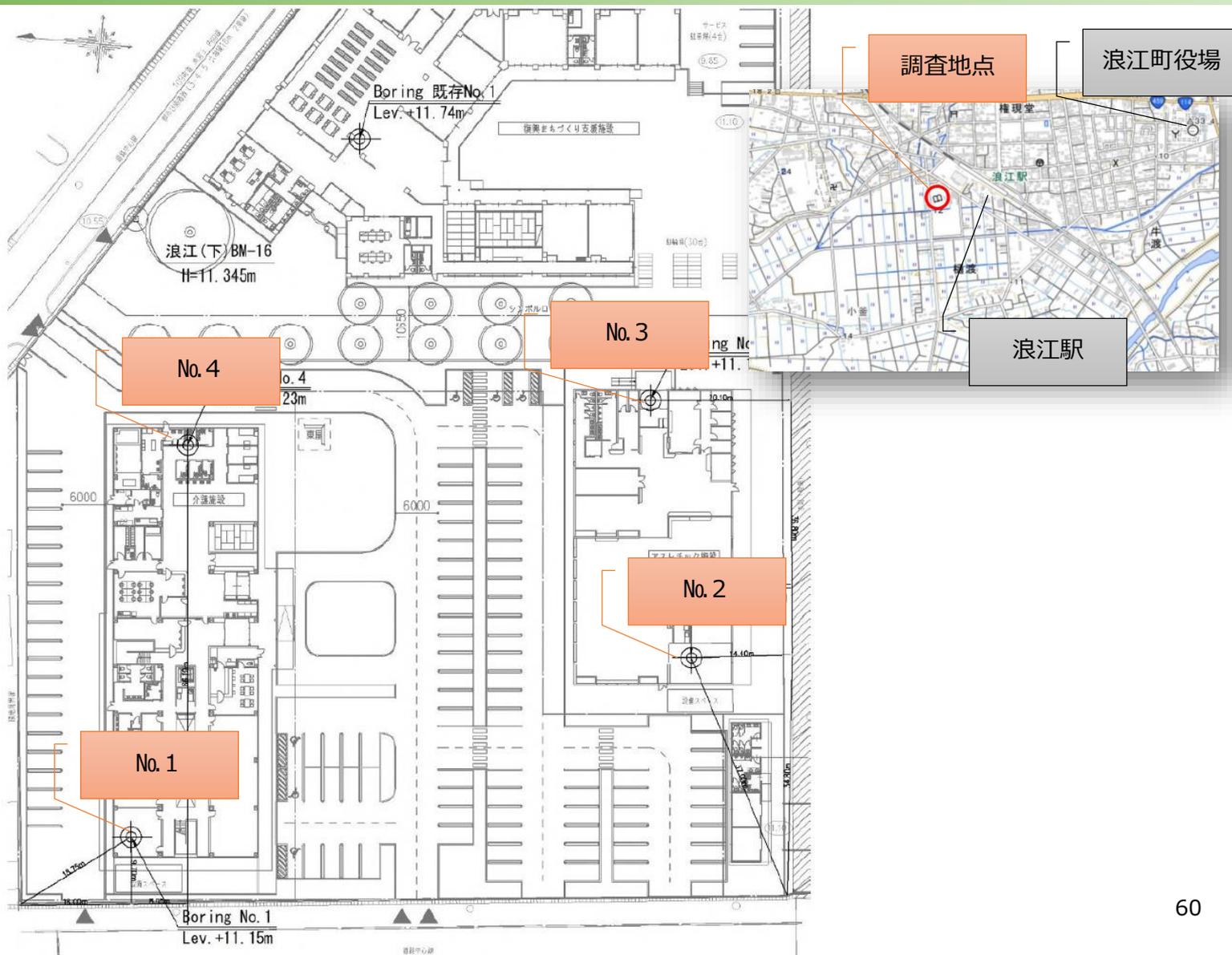
ボーリング名	H21BP-1		調査位置	双葉郡浪江町大字権現堂上柳町地内				北緯	
発注機関	浪江町				調査期間	平成21年8月1日～21年8月3日		東経	
調査業者名	庄建技術株式会社 電話(0244-22-6868)		主任技師	紺野雅弘		現代場人	紺野雅弘	コ鑑定者	紺野雅弘
ボーリング責任者	佐藤光平								
孔口標高	11.92m	角	180°上 90° 0°下	方	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	鉦研OP-1型
総掘進長	21.36m	度	0°	向				エンジン	ヤンマーNFAD8型
									ハンマー落下用具
									ポンプ
									半自動型落下装置
									鉦研MG-5h型



5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (地域公共施設整備実施設計地質調査)

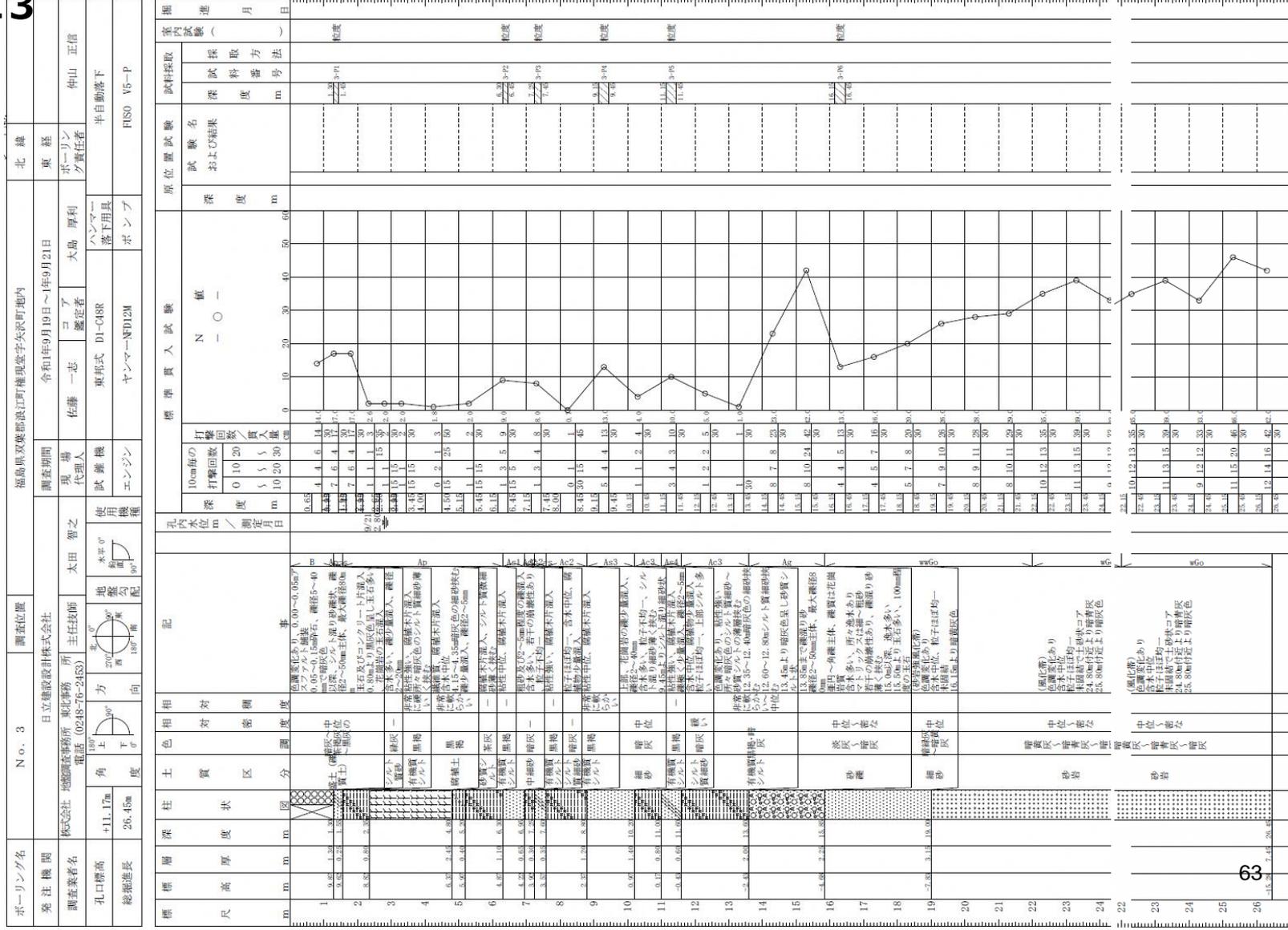
調査位置図



5. 参考資料 等

(参考) 近傍の地質調査結果 (地域公共施設整備実施設計地質調査)

柱状図No.3



ご清聴ありがとうございました

